京城日報

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

十月七日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨軍退却繼續

獨軍のアルマン、チエイル及びランスよりの退却繼續せられサンカンタンの東北に於て英軍騎兵はフレノア・イ・ル・グランに到達し佛軍はレヂン及びモルクウルを占領せり（巴里電報）

◇獨軍勃國撤退説

獨墺官邊にては勃牙利が中歐同盟國より分離すべきことを豫期し獨逸軍隊を勃牙利より撤退す可きを説く者あり但し勃牙利分離の場合土耳其との連絡はオデッサを經て維持せざる可らざることは明瞭なりと（ストツクホルム電報）

◇伊軍ベラット奪還

伊軍はベラットを奪還せり（合同通信電報）

◇佛軍前進開始乎

佛軍司令官デスペリイ將軍は目下何行動を起さゞるも直ちにコンスタンチノウプルに對し前進を開始す可しと（巴里電報）

◇墺國軍隊引揚

墺國は勃國降伏の結果アルバニアの戰線より其の軍隊を引揚げつゝあり（桑港電報）

◇墺軍艦數隻撃沈

聯合艦隊は墺國海軍根據地ドユラツオを襲撃破壊し墺國軍艦數隻を撃沈せり（桑港電報）

◇米軍歐洲派遣數

今や米軍の歐洲に向へる者百八十四萬人に達せり（華盛頓電報）

◇佛軍クラオンヌ肉迫

佛軍はクラオンヌを距る三哩の地點に迫り米佛軍はウエンセンメヂイの高地を占領せり（巴里電報）

◇アルゴンヌ戰闘激烈

一週間以前より米佛軍によりて開始されしアルゴンヌ森林兩側の戰闘は今や猛烈に續行せられつゝありサンカンタン、カンブレー間の戰闘亦激烈を極む（倫敦電報）

◇土國の同盟持續

土耳古政府は臨時閣議を開き獨逸との同盟關係を持續する事に決定せり（倫敦電報）

◇兩政府合同成立

浦鹽來電オムスク政府とホルワツト政府との合同成立したり（東京特電）

◇ホ總司令官承認

浦鹽來電＝三日聯合軍はセミヨノフ將軍の沿海州後貝加爾黒龍州並に東清沿線の總司令官任命を承認せり同將軍はニコライウスク或ひはハバロフスクに根據を定むべく此兩所に於て歩兵及び騎兵師團を編成すべしと（東京特電）

◇沿海州代表者決定

浦鹽來電＝西伯利政府は前浦鹽市長ケンメルマン氏に沿海州代表者たらんことを交渉せしに氏は是を承諾せり（東京特電）

◇ハ市行政中心地か

浦鹽來電ハバロフスクは再び極東行政の中心たるべしとの説あり（東京特電）

◇獨西部撤退討議

獨帝御前會議開會され西部戰線撤退問題を討議せりと（倫敦電報）

◇獨新内閣の顔觸

外務省の帝國新聞社設立協議

プリンツ、マックス、フオン、バアテンは三日宰相兼外務大臣に任命せられたり新内閣無任所大臣には下院議員グレイベル、シヤイデマンの兩名任命せらる、筈なり又内務大臣ワルラフの後任には中央黨の一議員任ぜられ勞働大臣には下院議員にして勞働團體總委員會副會長バウエル任命せらる可し外務省より獨立せる帝國新聞社を設立し議院出身の大臣をして主宰せしむる事に就き目下協議中なり（ベルン電報）

◇金劵條例抗議撤回

外交團より抗議中の支那金劵條例は幣制借款に關する既得權と年限延長を條件とし抗議を撤回する事に決定せり（北京特電）

◇副總統選擧期決定

五日參衆兩院協議會にて副總統選擧期を九日と決定せり尚副總統候補者は曹錕氏也（北京特電）

◇段總理愈辭任

戰爭督辦所の權限及び其他總て段派の意の如く運びたるを以て段祺瑞氏は愈々總理を辭する事となりたり錢能訓氏か或は田文烈氏總理代理となる可く猶曹汝霖氏は財政總長辭職後參戰督辦參贊となり財政外交を擔任する筈なりと（北京特電）

◇大總統更迭期と軍政府

大總統更迭期切迫に從ひ廣東側に於ては結局軍政府をして當分大總統の職務を行はしめ南北妥協の進捗如何を觀望す可しと（北京特電）

◇張西南討伐要求

五日張作霖氏より電報にて『大局統一は武力にあり速かに西南の内訌に乘ずべし徐世昌氏總統就任後直ちに討伐命令を發布せよ』と要求し來れり（北京特電）

◇督辦處權限擴張

參戰督辦處を以て最高統帥機關と定め總統總理の牽制を受けざる事に決せり之れ日本政府の希望により督辦處の權限を擴張せるものなり（北京特電）

◇塞軍進入

塞耳維軍はニッシユ、ハ、レスコヴアルッツ、ウラニヤの各地に入りたりと（巴里電報）

◇英軍隊著發

英國軍隊は○日夕哈爾賓出發西方に向へり尙ほ○日○驛に到着すべしと（哈爾賓特電）

◇騎士卿來朝

廣東軍政府秘書長騎士卿氏は五日上海出發八日神戸著直に上京する筈にして入京の上は我政府に於て南方派の名士として相當歡迎を爲す由（東京特電）

◇希臘全權公使

二日入京帝國ホテルに入りたる本邦駐剳希臘最初の特命全權公使デし、エー、デレニキス氏は近日中宮中の御都合を伺ひて參内 天皇陛下に拜謁仰せ付けられ同國皇帝陛下の信任狀を捧呈すべしと（東京特電）

◇駐支米國公使

歸國中の駐支米國公使ラインシュ氏は六日朝下關驛著同夜連絡船にて朝鮮經由赴任の途に就けり（門司特電）

◇有松氏臺灣視察

有松英義氏は近々臺灣視察の途に就く筈也（東京特電）

◇辭令

六日左の通り辭令ありたり（東京特電）

東京帝大農科大學教授林學博士 川瀬善太郎

廣島縣下及び朝鮮に出張を命ず

◎政務總監東上

山縣政務總監は新政府と政務打合せの爲め二週間の豫定を以て九日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上すべし

◎皇軍冬營配置

掃敵行動略終了

皇軍西伯利出兵以來疾風迅雷的に對敵の目的を完達し短日月の間に奏功したるは正に世界の驚異する處なるが現下

▲敵兵は所在に潰伍に歸し警戒の弛緩を窺へる形勢なるを以て聯合軍側に在りては根本的に掃敵を期し嚴寒季の襲來以前即ち十一月一杯位の豫定を以て頻りに行動し居り山田枝隊の一部はゼーヤ市に兵力を集中し更に其の先鋒を以てヤクーツクの敵軍を一掃せんとしブラゴエには野瀬枝隊ありて嚴重に家宅搜索を試み其一部は黒龍江を溯江して水上の敵軍を追撃しダブツガール西南方八里のチエルニヤエツより乘船下江中なる納原枝隊の一部と水路の連絡を圖り江守中佐の統率下なる

▲黒龍江艦隊は其の一部を以てゼーヤ河を遡江し山田枝隊と策應しつゝ前進を繼續中なるが要するに以上各隊の掃敵を完了するも遠からざる可く皇軍は來月初旬より冬營に移る可し而して其の冬營期間に於ける皇軍の配置は未だ確定するには旬日を要す可きも大體に於て

▲總司令部は浦鹽に第十二師團司令部はハバロフスクに第三師團司令部はチタに置き猶烏蘇里沿線の重要都市ニコライエフスク、ブラゴエ、カルイムスカヤ黒河等に守備兵を配置し西部はウエルフネウヂンスクに若干の部隊を出し以てザバイカル以東の關門と爲し住民保護、交通の安全に努む可く藤井枝隊及び船橋枝隊は機を見て從前の任務に復歸す可しと因に上記の如き形勢にて今冬を經過し

▲來春解雪期に於て新なる行動開始となるもヴオルガ戰線鎭靜今日の如く且つ何處よりか講和風の吹き來れる現下の形勢にて最早皇軍の積極的行動を要するが如き事もなかる可しと一部の消息通は觀測し居れり（東京支局）

◎朝鮮と工業動員

直接產業に影響を及さず

生田總督府商工課長談

軍需工業動員法は曩に第四十議會に於て兩院の協贊を經て法律として發布を見たるが今回十月一日附勅令を以て同法を朝鮮臺灣樺太及び南滿鐵道附屬地に之を施行する事となれるが同法の朝鮮施行に就き生田總督府商工課長は曰く今次の大戰は各國共に國を擧げて之に從事して居る而して戰爭に對して國家の

▲最大威力を發揮せんとせば單に兵力のみならず總ての軍需品に於て缺漏なきを要し戰爭の目的に遺憾なきを期する事は爲政者としての勉めである、此點に就て獨逸の準備が如何に科學的に整備されてあつたかは各國共寧ろ驚嘆の眼を睜り自國も之ではならぬ之れは將に範を獨逸に採るべきであるとして競つて軍需工場動員の組織的實行に力を致すに至つたのである無援孤立四面楚歌に陷つた獨逸をして今日の命脈を保たしめた所以のものは實に戰前軍需工場に對する訓練の行届いた結果に外ならぬのであるそこで我國に於ても時局に鑑み前内閣時代に戰時に際し軍需品の

▲補給を迅速にするが爲め軍需工業動員法を制定する必要ありとし十六箇條に亘る該法案が提出され修正の上發布を見るに致つた次第であるが同法は實に我國防充實の一部と認むる事を得るのである從來軍需品を戰爭の目的に徵發するに徵發令なるものが存在して居るが該令は明治初年の制定に係り目的甚だ狹小で大規模に戰時に當り何程の軍需品製造能力を有するかに就て詳かにする術がないから此動員法は之等の缺點を充分に補ひ平時に於て諸機械器具其他軍需品製造に必要なる一切の諸工場鑛山に於ける從業員等を調査し

▲有事の際は之等の配給按配をも自由ならしめ得るものである朝鮮としては内地に比し工場等の數は尠いが鑛山は相當多きに達し殊に精米業は未だ内地の如く組織的となり居らざるの憾みあり米は軍需品中重要なるものであり關係の深きものなれば充分の調査をなし精米業者の統一を計り置くの必要がある然し乍ら軍需工業動員法は平時は只官廳の手に於て調査をなすに止り工業に何等の制肘を加ふ可き譯ではないので直接產業には些の影響をも及ぼさざる事は明瞭である

◎殖產引繼債劵

合計三百萬圓

朝鮮殖產銀行令により十月一日解散したる各農工銀行より朝鮮殖產銀行に引繼ぎたる農工債劵は三百萬圓にして内譯は左の如し

▲漢湖農銀分 同行第三回社債五十萬圓第五回社債五十萬圓合計一百萬圓

▲平安農銀分 同行第三回社債十萬圓第五回社債四十五萬圓合計五十五萬圓

▲慶尙農銀分 第三回社債十五萬圓第五回社債四十五萬圓合計六十萬圓

▲咸鏡農銀分 第三回社債十萬圓（一口）

▲全州農銀分 第三回社債十五萬圓第五回社債二十八萬圓合計四十三萬圓

▲光州農銀分 第三回社債十萬圓第五回社債二十七萬圓合計三十七萬圓

◎殖銀職制發表

豫て總督府に對し認可申請中なりし朝鮮殖產銀行職制は十月一日附を以て認可せられたるが其内容左の如し

▲頭取 三島太郎

秘書課

▲總務部長理事櫻井小一 文書課、檢查課、調查課、計算課、

▲勸業金融部長理事有賀光豐 勸業貸課、技術課、證劵課

▲商業金融部長理事中村光吉 普通營業課、檢查課、出納課

◎鮮銀對露協議

朝鮮銀行の浦鹽出張所員堤司事六日夜歸京せしを以て七日嘉納副總裁大田片山兩理事吉田營業局長山司事等は總裁室に參集堤氏の報告を聽取し午前十時頃より同方面に於ける鮮銀業務に就て協議する所ありたり

◎上調終末近し

臨時土地調查局に於ける各種作業は既に何れも概ね完了しその終末も遠からざる事となれるが目下處理しつゝある業務は高等委員會驛屯土調查地誌資料調查地圖調製等に過ぎず高等委員會を除けば多く特別作業に屬するものにて局員何れも殘務整理を急ぎつゝありと

◎郵貯新記錄

一千三百萬圓臺

内地の郵便貯金は激增又激增にて夙くも五億圓臺を拔きたるも朝鮮の郵便貯金は物價騰貴の影響よりか今夏來釘付狀態にありしが九月末の統計は珍らしく增進を示し新記錄の數字を作れり乃ち預入者百三十三萬四千三百九十三人その預入金額一千三百十七萬四千三百九十三圓にして之れを前月末に比すれば人員に於て約八千人を增し金額に於て約四十萬圓を增加したりこれ物價騰貴生活難の聲は相變らずなれども當局に於て預金の奬勵を怠らざるためなりと見るを至當とすべく更に十月は例年郵便貯金の增進期に付或は一千四百萬圓臺を實現するやも圖り難しと

◎東拓貸出激增

九月末の現在に於ける東拓[illegible]京城支店管内の不動產金融總額は定期貸附二百零九萬零百二十三圓年賦貸附九百零三萬零九百十三圓合計一千百十二萬一千零三十六圓にして之れを前月末の一千零二十八萬圓に比すれば約八十萬圓の增進を告げ居れるが目立ちたる大口の貸出はなく大部分地方出張所の貸出增加にあり而して貸出先は農事改良資金なり尙ほ十月より朝鮮殖銀の開業あり同一目的の資金供給機關併立する事となり且殖銀は支店數多く商業金融兼營等の便宜あり東拓資金貸附增加の趨勢には若干の影響は免れ難かるべきか

◎小原長官動靜

小原農商工部長官は六日夜南鮮方面視察を了へ歸京せるが八日出發西鮮方面視察の途に就くべし

◎兩長官事務引繼

上林咸北、桑原忠南兩道長官は七日朝總督府に出頭事務の引繼を爲す

◎鮮銀新司事

朝鮮銀行にては一日附左の兩氏に頭書の辭令を七日發せり

漢湖農銀支配人 遠山熈 司事を命ず

休職鮮銀司事平安農銀支配人 中西喜久男 司事復職を命ず

遠山氏は部屬未定なるも當分檢查局に席を置く事となりし由にて早晩檢查局長に就任すべしとの說あり中西氏健康佳ならず當分内地に歸養する由なるが歸任の上は本店の某課長たるべしと

◇新米を速に販賣せよ

十一月以後米價は多少低落せん

農商務省農產課長伊藤悌藏氏談＝米價調節上の意義に非ずして純粹なる農家經濟上の見地より看て余は農家が成る可く新米を速に販賣せん事を望まざるを得ず今や早稻は續々收穫せられ十月末迄には數百萬石の玄米を生產すべし其後十一月に至らば新米の出廻り益多きを加ふ可きが故に米價は多少低落するを免れざる可きを以て新米は收穫後速に賣出すを農家經濟の上より見て安全なりと思考す（東京特電）

◇外國米管理打切

河合穀物管理局外米課長談＝政府が四月廿日外米管理を實行して以來既に三億三十萬石の關貢米西貢米を購入するに至りたるが尙產地に買約濟のもの五十萬袋は船腹を差繰り續々輸入を急ぎ居れり且つ新米の出廻りも逐日旺盛となり深川在米潤澤と爲りたるにより一先づ外國米管理を打切る事に決定したり（東京特電）

◇原首相招宴

原首相は七日午後五時より政友會所屬代議士及び主なる院外者を芝山内三緣亭に招待し新任披露の挨拶をなすべし（東京特電）

◇寺伯隈侯訪問

寺内伯は六日午前十時半大隈侯を訪ひ在職中の挨拶を述べ會談三十分餘にて辭去せり

◎咸興運送許可

濱田四郎外一名よりの申請に係る咸興運送合資會社設立の件は九月三日附許可の指令ありたるが同社は本店を咸南咸興郡に置き資本金一萬五千圓を以て貨物の運送業を營むものなりと

人事消息

▲久保醫學博士（九大醫科教授） 七日夜金剛山探勝を了へ入京關屋氏宅に入る

▲慶南浦項商工學校生徒一行 八日午後開城より入京市内見物一泊の上退京の筈

▲公州農業學校生徒一行 九日入京市内見學一泊の上退京の筈

▲舞田壽三郎氏（愛知縣織物組合長） 七日入京不知火へ

▲小林周藏氏（同織物商） 同上

▲松永安左衛門氏（代議士） 七日朝新羅丸にて釜山上陸午前十時半發北行

茶前酒後

◆極東に驍威を振ひたる、流石の過激派及び獨墺俘虜も、先月廿九日を以て、全く掃蕩され了りぬ。而して此の戰ひが、戰鬪としては、殆んど誇るべきの價値なしとするも、皇軍の迅速疾風の如き進撃振りは、實に世界的レコードとして世界の戰史に特記さるべし。

◆皇軍の追撃神速を極めたると共に、敵の逃走の疾さも、亦新しきレコードを作れり、敵の退路は、逃も逃たり三百里に達す。此里程は我東京、福岡間に相當せり。

◆戰初に於ては、敵は相應に強く、チエック及び過激派軍は、多くの場合敵の壓迫を受け、屢々危態に陷れり。然るに皇軍一度戰場に立つや、敵は最初に於いて、一氣に百三十里を逃走せり。而も其一息入る、間もあらせず、殆ど敵の後尾に附して、皇軍の追討部隊進撃せり。敵は更に百六十里を走る。之即ち、風を望んで潰ゆる者の、實證を現はしたる者也。皇軍の此疾風迅雷的の追撃は、聯合各國軍を驚倒せしめしは勿論、我軍司令部をしても、呆然たらしめたり。其赫々たる武勳は、永く戰史に輝かん。

◆政友會領袖元田國東君、近時所感の一首に曰く『欲爲邦家捧[illegible]氣。不關世議漫紛紛。丹楓黄菊秋所高。山窓獨坐都觀雲』と。但し轉句は別に本當の物あれど、今は發表せずと云ふ。隱さる、程拜見致したきは人情也。男らしく發表せよ。

◆四日執行されたる、故大浦氏の葬儀は、元老、大臣、名士、實業家等の會する者實に三千餘名、之を稱して擧國一致の葬儀と云ふ。故人の靈亦冥せん。

◆樞府の一老曰く。原氏を指して平民首相と云ふも、歷代總理中西園寺侯を除けば、門地の高き原氏に如くはなし。即ち伊藤、山縣の兩公、松方、大隈の兩侯、山本伯等は、各舊藩の輕輩、桂公も祿五百石を食めり。然れども原氏は南部藩にて、祿千石以上を食みし家柄也、寧ろ之をしも平民首相と云はんやと。老人丈けに考へたも

◉一代に百萬の富を作る
決して難事に非ず
何人にも容易に實行し得る方法
予が現に實行しつゝある利殖法
株式會社富强世界社專務取締役 大迫利亮

▼金は誰にも出來る
世の多くの人は金は出來ないものであると思つて居る、一代にして巨萬の富を蓄積するなど云ふが如きは、明治維新の時のやうな世の中の秩序がキチンとして居ない時の事で、今日のやうに社會の狀態が萬事組織立つて仕舞つては無一文から僅かに金持となる事は到底出來得るものではない、況んや一代に一百萬圓の富が得られるなど云ふやうな事は全く空想である、空理空論であると一笑に附す人が多いであらう、併し、金は作らうと思へば必らず出來るのである、一代に一百萬圓の富を得る事も決して難事でない、疑ふ人は來つて先づ予が如何なる利殖法を實行しつゝあるかを調べて貰ひたい。

▼成功致富の實例多し
一昨年十月時事新報の調查報告したる五十萬圓以上の全國資產家表を見ると現在我が帝國に於ける五十萬圓以上の資產家は合計二千二百○一人であつて、之を前回の調查即ち明治四十四年七月の調查に比較すると、其の數に於て實に一千百七十六人を增して居る、ツマリ此の五年間に五十萬圓以上の資產家が一千百餘人增加したのである、此れ丈けの人が富を作つたのである、此の事實は取りも直さず、社會の秩序が整然としたる現代であつても、尙且つ金は出來るものであると云ふことを證明して居るのである。

▼金の出來ぬ理由なし
然るに金が出來ないと云ふのはツマリ苦心が足りないのである、予は此の點に關して多年苦心の結果、先づ富を作らんと欲する者の第一條件が利殖の觀念を鞏固にするに在るを深く感じ、日夜專念、約十年の長きを利殖の研究に費し、自ら又、自己發案の利殖法を實行して、約二十萬の富を作り又更に之を自己關係の會社商店に應用して悉く良好なる實績を擧げ、以つて今日に及んで居る事は天下周知の事實である。

▼天下の富豪金利を恐る
三井、三菱、住友の如き大富豪であつても茲に僅かに一萬圓の借金があつて其の借金に年二割の利子が積つて行つたと假定すると其の借金は五十一年目には驚く勿れ、實に一億一千萬圓の巨額に上つて三井、三菱の富を以てしても尙破產の運命に陷らねばならぬ、故にこれを反對に見て茲に一萬圓の財產を有する人が其の金を年二割に廻したとすると、其の人は五十一年の後には三井、岩崎家を凌駕して一億一千萬圓の大資本家となる事が出來る、併し今現に無資產の人には此の論法では通用しない、即ち先づ資金百圓の利殖法を講じ更に其資金の百圓を作る方法を講じ無一文の裸一貫から巨万の富を作り出す實行方法を述べる事としよう。

▼百圓の資本で百萬圓
茲に一百圓の資金を持て居る人が其の一百圓を年二割の金利に廻したと假定すると一百圓の元金は五十一年目には元利合計金一百十萬圓となるのである、又一百圓の元金を年三割に廻せば廿六年目に一百廿六萬圓となり年四割に廻せば廿八年目には一百廿三萬圓年五割に廻せば廿三年目に一百十二萬圓となるのであるから、若しも百圓の金を以上の金利に廻すと一百圓の資金を有して居る人は誰しも一代に一百萬圓の資產家たり得ると云ふ事になる、問題は果して二割三割と云ふ金利に其金を廻し得るか、否かにあるが、予は必らず以上の金利に廻し得るものと信じ、且つ之を實行しつゝある一人であるから之から順次、自己の實驗に基く利殖法の根本概念を說く事としよう。

▼一日五錢儲ければ宜し
一百萬圓と云へば大金であるが所謂、塵積つて山となるの道理に洩れず、一百萬圓の富を得んとするには先づ細かい勘定から出發せねばならない、此の僅かな利殖の根本概念が呑込めた人だけが巨萬の富を作り得るので、此の理窟、此の計算の分らぬ人には到底金は出來ないのである、即ち其利殖運用法の一端を茲に公けにするが、十圓の資本で一日五厘五毛宛儲けて行けば一百圓の元金は五十一年目に一百十萬圓となる、十圓の元金で毎日八厘二毛宛儲けて行けば百圓の元金は廿六年目には一百廿六萬圓となる。十圓の元金で毎日一錢一厘宛儲けて行けば一百圓の元金は廿八年目に一百廿三萬圓となる、十圓の元金で日に一錢三厘七毛宛儲けて行けば一百圓の元金は廿三年目に一百十二萬圓となるのである、何ぞ恐ろしいものではない乎。

▼決して實行難に非ず
予の實際に調査せる所に依ると、世人は生活の爲には常に對資本の利廻り一割以上を儲けて居るの實例に乏しくない例へば茲に百圓位の資本を以つて一の營業を始め其營業に依つて一家四五人の家族が生活して行くと云ふ實例は幾らもある、四五人の家族が生活するにはどんな片田舍でも一箇月十圓内外の金が必要である、して見ると一箇年百圓以上の利益で、即ち其の對資本利廻りは年十割以上である、故に人は生活に追はるゝ如き眞面目を以て利殖の運用に當るならば其の目的を達して富を作るは決して困難でないのである。

▼貧乏人續々[illegible]
然るに、世の多くの人が、一代に富を作るの望みなし、と悲觀して遂に自暴自棄に陷るが如きは誠に歎ずべき次第である、予は多年此の利殖法を研究し且つ實行し來つたが、之を公にするを欲せず、唯、親戚、知己の間にのみ說き、稀には失意の境遇に陷り助力を乞ふ者に說き來つたに過ぎない、併し、此の利殖法に勇氣を得て俄かに發奮努力するに至つた人も尠くなく、昨日は失望に泣きたる青年も今日は光明ある希望に滿たされたる生涯に甦生する實例も尠くなかつたので予は曩に決する所あり今回本社内に「貯蓄投資研究會」なるものを設け、「貯蓄投資講義錄」を發行し予が年來苦心せる利殖法を公開するに至つた次第である。

▼空論に非ず實際的
既に金をためさせて、そして其れを殖やさしめる爲めの講義錄であるが故に勿論、空想めいた言葉は一字も無い、且つ義は極めて平易で誰にでも讀め、且つ一々實際の生活に充てはまるやうに出來て居るから如何なる職業の人でも此の講義錄を讀めば、其の職業の傍らで直ちに實行が出來る、貯金のないものでも之れを讀めば直ちに貯金が出來る、そして之迄銀行や郵便局に安い利息で預金をして居た人は直ちに其の利殖法を覺えて二割乃至五割と云ふ善き利廻りに利殖することが出來安全に確實に成功する事が出來る。また併し諸君の中には百圓の元金をも有せずして其の百圓を得るには、如何にす可きかに惑ふ方もあるかも知れぬ、予も亦其の點に就ては講義錄に於て先づ百圓を得るには如何にす可きかに就て、自己の經驗を基礎として誰れにでも容易に出來得る實行方法を述べ恰も盲目の手引するやうに一々懇切に指導してあるのが本講義錄の特色である。

▼會員には永久指導
單に講義錄にて懇切に金錢利殖の秘訣を公開する許りでなく一たび本會へ入會した人は永久に本會との關係を持續し會員各自に一々實際問題に對する解決を與ふると共に會員各自が成功致富の目的を達する迄は永久指導の任に當るので今日迄會員から來て居る處の多數の禮狀は自分が國家社會の一員として何よりも愉快に感じて居る處である。

▼本社の確實なる事
本社は資本金二十萬圓拂込濟の株式會社である、而して自分には尠い乍らも無一文から數年間に苦心惨憺して作り得た約二十萬の富がある、其他本社の重役は何れも自己の努力に依り一代に今日を成した人々で、これらの重役に依つて經營さるゝ本社が發行し自分も亦私利を犧牲として國家社會の爲め金錢利殖法の普及發達を目的とし、責任を以て其秘訣を公開執筆した本講義錄であるからありふれた杜撰な講義錄とは其の選を異にするは云ふ迄もない。

▼今直ちに決心せよ
諸君乞ふは果斷を要す、以上余の所說に共鳴せらるゝの士は速かに我貯蓄投資研究會に來れ、講義錄は全八冊會費は入會金共五圓であるが時局に鑑み今回特に一千名を限り大割引半額實費二圓五十錢を以て入會を許し講義錄全部入用取揃へ一時に送附する事とした諸君は速かに「東京市神田區一ツ橋通町八番地株式會社富强世界社振替東京二八一九七番」へ割引會費二圓五十錢を拂込み、一日も早く我利殖法を實行し他に先んじて成功致富の實を擧げられよ

大禮記天覽 御滿足氣に
有難き御諚あり

二百卅一卷より成る大禮記錄の一本が 陛下の御手元に收めらるゝこは既報の如くなるが四日午前十時 陛下には宮內大臣以下を從へさせられ東三の間に出御の陳列中の記錄を 天覽あり編纂委員會幹事下條內閣書記官謹んで御說明申上げたるに 陛下には內地は勿論臺灣朝鮮滿洲等に於る奉祝の實景を御覽ありて『こんなに祝つて與れたのか』ご有難き御諚ありたりご洩れ承はる、斯て午前十一時半いご御滿足の內に入御ありたり(東京)

いよいよ迫った 土耳古の運命
勃國同樣無條件降伏か
ダ市は人口卅萬の大都會

アレンビー將軍がダマスカスを陷落さしたダ市の占領は英軍の大成功であるが既に昨秋エルサレムの陷落當時今日の運命があつたのだ近來獨逸の敗北ご共に英軍は再びパレスタイン方面に活動し出して此間ナザレを取り更に北進して今回ダ市を占領するに至つた忌憚なく言へば土耳古は其方面には手が廻り兼て多少見限りの體であつた

◆此處は パレスタインの中心點で土耳古の分國もあり無論打擊に相違ないが今では土軍の本部からも離れて居り住民も土耳古人が少い上にアラビヤ人シリヤ人混つて統一がなく英軍の占領も案外易かつたこ思ふ今後

◆英軍は 更に北進してシリアの中心アレッポーを占領すべく斯てシリヤ、メソポタミヤ、アラビヤの三地方は英軍の手に歸する事になるであらう殊に最近ブルガリヤの降伏は土耳其にこつて非常な打擊で尙土耳其が抵抗する事になれば ブルガリヤから

◆陸路で 攻め背路から君士坦丁堡を衝く事になるかも知れない斯くして土耳其をしてブルガリヤ同樣無條件降伏をなさしめる事であらう、ダ市は人口約卅萬彼地こしては

◆大都會 でマホメット教の盛な所で凡てが支那風の淋しい所である然うなつて來ては遉の獨逸も容易であるまい

評判の好い新警保局長
豪傑肌の酒豪 趣味は廣い

今度青森縣知事から警保局長に就任した川村竹治氏は豪傑肌の斗酒尙ほ辭せざる方で頗る趣味に富み謠曲、撞球、乘馬、碁を好み毫も撰へば漢詩も作る、昨年總選擧の際には政友會の爲めに計つて憲政派に大干涉を試みたのは有名な事實である、今年の一月には風流宰相を似ねて新聞記者を招き、徹宵飲み明した事がある、萬事が此調子なので部下の評判は頗る好い

東宮御還啓
演習地より

陸軍特別大演習御見學中なりし皇太子殿下には六日午前九時十分鎌岡御用邸御出門九時二十分國府驛發臨時列車に召させられ午後二時二十分東京驛御著 兩陛下御使兩皇子殿下御使各皇族方御使波多野宮相、加藤海相、田中陸相、上原參謀總長、島村軍令部長以下各文武官の奉迎を受けさせられ陸軍步兵大尉の御軍服に大勳位菊花大綬章御佩用御車寄に出でさせられ直ちに御馬車に乘御入江侍從長御陪乘小川武官長以下各供奉員を隨へさせられ東宮御所に還啓在らせられたり(東京特電)

演習に使用の新武器

高師天白兩原の攻擊防禦の兩陣地に於て歐洲戰爭の實狀に鑑み[illegible]

◆實彈射擊 を試みた[illegible]の步兵銃より少しく重く兵士一人で之を擔く、彈丸は從來の手榴彈を[illegible]式の武器で敵の襲擊を受けて陣地[illegible]砲工兵に一大威力を[illegible]

擊沈された平野丸
新造の優良船 氣遣れる乘客

(別報)日本郵船會社歐洲航路平野丸(七千九百五十噸)は九月二日リバプールを出帆したる儘行方不明こなれり郵船會社にては其安否に就き頗る憂慮しつゝありしが俄然九月五日大西洋に於て敵潛航艇の襲擊を受け遂に擊沈の災厄に遭ひ死傷者多數ありたる旨五日午後其筋に電報ありたり而して死傷並に損害の程度等に關し郵船會社に於ては何故か固く秘して是を發表せざるも同船は新造の優良船にして乘客多數ありたる模樣にて殊に遭難場所には大西洋上なるより察するに救助等は固より思はしからざりしものこ思はる(東京特電)

救助僅かに三十名
二百名溺死?

郵船平野丸乘組人員二百三十名中三十名は米國汽船に救助收容せられたり(東京×報)

皇后宮御製の繃帶傳達
傷病兵感泣す

皇后陛下より野戰第十二師團負傷者の後送入院治療中のものに對し畏くも御手製繃帶四千卷を下賜せられたるに依り陸軍省副官東條大尉之を携帶して六日午後一時卅九分小倉驛著直ちに師團司令部に入り仙波留守師團長に對し之を傳達し師團長より更に之を小倉衞戍病院長に傳達し患者に分配したるが何れも畏き御旨の有難きに感泣せり同大尉に就き承るに右繃帶は實に皇后陛下御手づから製せられたるものにして尙小倉に於て傳達を終り午後四時門司出帆の御用船にて浦鹽よりハバロフスクに到り軍司令部に傳達する由也(門司特電)

戰地では下駄が流行
=外套で鼻緒—藁が分捕=

出征第十二師團經理部主計正原健吉氏より某所に達したる情報に依れば近來氣溫降下し冬服に外套を著し冬籠りの準備に忙殺され野菜乾草の貯藏に防寒設備に全力を盡し居れるが糧食品は內地より追送し來たれるため不自由なきも酒、煙草だけは充分に行屆かず酒は一名一合

▼煙草 は二十本に限定し居れり近來兵營內に下駄履流行し兵士は薪を削り下駄を作り鼻緒は露兵の分捕外套にて製し居れるが却々調法のものなり吾等の三大隊は上陸以來前線の戰鬪を命ぜられ遠く兵站線を離れ糧秣には非常の困難を爲し十數日間饗に蜂蜜を付け麥粉にて團子を作りて食したる程なり其代り大隊は

▼感狀 を師團より度々下附され大威張なり今日迄最も恐ろしかりしはクラエフスキー附近の戰鬪にて砲彈盛に飛來し數間の距離に落下し小生の從卒が首より土を被りし當時なりき又愉快なりしは騎兵の枝隊こなり當市より約三里の海枝根據地を襲擊し敵砲艦を捕獲せし時なり斯の如くにして我軍は一睡もせざる事少からざりし

文展出品締切
昨年より少い

文展出品は五日締切りたり出品は日本畫千九百四十五點、洋畫千百三十點、彫刻百十點にして昨年總出品數に比し六百餘點を減じたり(東京特電)

逮捕する迄
首尾好く蘭屋殺しを逮捕した小松警部の苦心談!!!

本町署の佐々木、棚橋兩刑事ご共に蘭屋殺し犯人都野川を逮捕の爲め大阪に出向ひ見事責任を全うして歸京せる小松警部は十日振りに[illegible]部下[illegible]自席に[illegible]を現はし逮捕當時の經路を語る。

▽跡を追うて
神戸から大阪へ 忠信に手紙

『私が犯人逮捕の爲め大阪方面に向つて出發したのは先月廿八日の夜であつた。翌二十九日朝釜山に下車したが此の時は既に棚橋刑事が張り込んで居た。ご云ふのは犯人都野川が京城に居る

◆情婦忠信 に宛て內地からの打電に五日釜山に來い自分が釜山迄迎へに行くからご云ふ事を探つて居たので釜山に張り込んで居たのである。ところが犯人が下關に入り込んだご云ふこごを漸く內地新聞などが嗅ぎつけたらしいので發表されて犯人が更に

◆高飛でも すれば大變だご電報を當てにして五日迄安閑こして釜山に居るわけにも行かないので棚橋刑事ご一所に其朝早速連絡船に乘り込み同夜下關に上陸したが犯人は既に大阪方面に立つた

◆姬路には 佐々村刑事が張り込んで居たので下關を發する時同刑事に打電し姬路驛で一緒になり直ちに神戸に向つた。何故神戸に向つたかご云ふに以前犯人が情婦忠信に宛てた通信に神戸のミカドホテルで落合ふご云ふここがあつたので同市

◆相生署の 應援を借りてミカドホテルを探したがミカドホテルご云ふのは鈴木商店の爲めに買取られ米騷動の時に燒打ちされて了つたご云ふここが判つた。

▽手掛は
犯人の親友と 下駄の烙印!!!

其處で私は犯人が大阪に入り込んで居るこ見當を附け三十日の午前十時頃に同市南署に行つて應援を賴み南區綿屋町の泉旅館に犯人の親友池田長次郎ご云ふものが泊つて居るここを突き止め同日午後一時頃同旅館の番頭を

◆衞生上の 事に就て用事があるからご云つて南署に出頭させ取調べて見るこ昨夜十時半頃自動車を驅つて一人の男が池田を訪ねて來たご云ふ、そして二人は一所に何處かに出掛けて行つて今朝の午前二時頃に池田は宿に歸つたご聞き

◆池田に就 て取調べて見るこ附近の魚岩ご云ふ料亭で飲んだこが判つた、そこで早速其料亭に行つて取調たが初めての御客だから何處の方か判らないが同人が穿いて居た下駄に『萬戶』ご云ふ

◆燒印が押 してあつたこ云ふ、それで萬戶ご云ふ宿屋や料理屋の名前を探したこころ北區雜人工町に萬戶こいふ旅館を發見したこころが此旅館には既に大阪の新聞にも犯人が大阪に逃げ立石卯一ご變名して泊つて居る筈など

◆書き立て あつたので非常に心配し且つ一方池田長次郎の言による犯人は自分の宿所は明さなかつたが卅日の午後に東京に立つ積りだこ電話を掛けたこ云ふので、心配で堪らなかつた

▽目醒た刹那
飛び兎つて 難なく捕縛

それで時を移さず南署の刑事四名に應援を賴み萬戶旅館に行つて調べて見るこ立石卯一こいふ者が泊つて居る。寫眞を示すこ此の人に相違ないこ云ふ、そこで犯人逮捕の旨を告げたところが

◆下女等は ガタ〳〵慄へ出した我々は先づ充分の用意をして犯人の客間に入るこ折柄人はパチリご眼を開いた。私が飛かゝつて左の腕を捩上げるご他の刑事が

◆折重つて 捕縛した。一發や二發は打たれる覺悟だつたのに難なく逮捕したのは幸ひだつた。聞いて見るこピストルは大同江に捨てたご云ふ。それから其日犯人が立石卯一ご變名して大阪に乘り込んで居るご云ふ記事を書いてある大阪

◆朝日新聞 を犯人は借りて讀んだが其の記事だけは眼につかなかつたご云ふ矢張り運の盡きだね

哈爾賓の支那兵=早川從軍記者撮影

▽悔悟の淚
に咽ぶ都野川 忠信は前科者

五日夜本町警察署に於て徹宵取調べを受けたる蘭屋殺し犯人都野川義夫及び同署に拘留中なりし犯人の情婦忠信は六日早朝檢事局に送られ山澤檢事の係りにて取調べを受けたるが

◆檢事局に 於ける兩人の模樣を聞くに都野川は相當の敎育を受け名譽地位を有せしこご、て就縛後は良心の苛責に耐へざるもの、如く殊に檢事局に於ては一層顏色憔悴し兩眼に淚を湛へて靜問に答へ係り檢事も

◆聊か哀感 を催さしめしご云ふ然るに情婦忠信は强情にして容易に實を吐かず都野川が素直に自白せしにも拘はらず忠信は言を左右に託し傲岸の態度を以て係り官を手古摺らせ居れりご云ふ忠信は以前大阪控訴院に於て

◆文書僞造 の廉を以て刑を受けたる前科者にして遂回の事件に關しても一向同情の餘地なしご睨まれ居れりご、尙ほ本事件は今日迄の所豫審に廻さるゝや直ちに公判に附せらるゝや確定し居らずご云ふ

娘子軍=の北進
滿洲里も哈市も却々繁昌
慘めな露國婦人の內職!!!

最近北滿より歸來せる某氏は語つて曰く滿洲里には第七師團司令部が置かれてあるので多數の人が入り込み昨今市中は非常に雜沓してゐる、中には一攫千金を夢みてゐる有象無象も多いが殊に目に立つのは

▲娘子軍 の一隊で滿洲西伯利を股にかけ海千の手合がこゝに流れ込み僅の間に七十名に達し兵隊さんの夜伽をやつてゐる兵隊さんも戰ふには敵はるが無聊紛れに手を出すものも多い模樣でなか〳〵繁昌してゐる揚代は一助均一で兵隊さんを優待してゐる

▲哈爾賓 の花柳界も恐ろしい景氣で以前藝妓が三十人であつたのがこの節は九十餘人こなりそれでも毎日箱切こいふ始末續々入り込みつゝあるがハルビンの景氣のいゝのは荷動きがある邦商が多數入り込んだ結果であるハルビンご云はず滿洲里その他北滿西伯利各地に於いて一番慘めに感ぜられたのは

▲露國の 女にして彼等は喰ふに金なく肉を賣つてその日を支へてる始末、中には良家の夫人令孃が小使錢を取るため此內職をしてゐるなご全くお話にならないその契約料など僅十五留ごいふ端た金である、併し邦人に對しては遠慮があるこ見ゑ謹んでゐる、併しその方專門の女ご來たら日本人だらうが支那人だらうがお構いないのは無論である

▲三師團 の兵隊さんは釜山で財布の底を拂ひこれから一直線に戰場に行くのだご盛に金を撒き散らしたが一直線に戰場に行

大阪中央電信局
局員の同盟罷業
事務の繁劇に堪へ兼ねて 電信ますます停滯す

大阪中央電信局にては秋山前局長時代より部內に屢不穩の形勢あり秋山局長は其都度是に對し應急の手段を取り漸く事無きを得來りたるが最近に至り電信事務は日を追うて

◆繁劇を加 へ到底事務を處理するこご能はざるより遂に定員六百三十三名を七百名に增加し辛くも其の日〳〵を過ごし居たるが俄然去る四日判任官の一部及び雇員を合せて二百八十名の同盟罷業を見るに至り六日に及ぶも尙ほ局內不穩の形勢止まず百二十餘名聯盟の缺勤者を出し電信事務に

◆大故障を 生ずるに至れり依て八木局長は急遽各課長を局長室に召集し其善後策を講じつゝあり(大阪特電)

皇軍の武威揚る
哈爾賓市中の示威行進

哈爾賓特電=三日午前十一時帝國軍隊は軍樂隊を先頭に堂々こ哈爾賓市中を練步き大いに其威容を示せり(東京特電)

上納師
二度西伯利へ

重要任務を帶びて上納成泉師は五日敦賀發三度西伯利に向へり師今回の行は重要なる任務を帶べる由(敦賀電報)

◆秋は子供の健康を 著しく增進する
病氣に罹らぬ用心も怠るな

遽に秋冷こなり寢冷えから來る子供の腸加答兒や流行性感冒、氣管支加答兒など急に多くなつて來ました、そこで親達は特に口々喧しくても必ず蒲團を着せてやり殊に腹部のものでも腹に腹卷でも附け寢冷えを防ぐこごを怠つてはならぬ秋の

果物 で柿は不消化だから子供には禁物である、昔から柿の出盛りは赤痢の盛りご云ふここ

を謂ふが柿を食過ぎるこよく腸加答兒を起し加之に寢冷えでもすれば赤痢に罹るには[illegible]である、何の果物に限らず

少量 は與だが多量は毒である。腸加答兒は油斷してゐると知らぬ間に立派な腸窒扶斯になつてゐる事が多い、流行性感冒で熱が出たご思つたら氷枕で頭部を冷してやり腸加答兒には[illegible]が良い[illegible]大腸部を冷してやるとだが

赤坊 には同時に足の方に湯タンポを置くここを忘れてはならぬ、さばいへ秋は馬さへ肥ゆる季節であつて一體なら子供の健康も著しく增進する時であるから病氣に罹らぬ注意ご共に積極的に健康を增進するやうにしたい

五歲 以上には必ず每朝冷水浴を實行さすること、但大人が手傳つてやらぬこ感冒を引く虞がある、天は高い野外で遊ばせるのは何よりも効である

ける期待は[illegible]從事員の[illegible]によつて[illegible]十日假も[illegible]ここになつた、サアこうなるこ無聊を感ずるさりこて僕には金はなしこいふので

▲郷里に 盛に電報を打ちて金を取り寄せたが、この額は莫大なもので同地郵便局では未だ曾てない巨額の爲替を取り扱ひ恐ろしい忙しい目に會つたこ零してゐた

赤十字看護婦
入學後の待遇

目下募集中の赤十字社朝鮮本部看護婦生徒は本月下旬授業を開始する筈なるが生徒入學後の待遇は大要左の如し

▲生徒には每月一定の學資を給與する外宿舍に食費被服等は貸與する

▲生徒は京城總督府醫院構內赤十字寄宿舍に合宿せしむ

▲修業一箇年半を了りたる生徒は總督府醫院又は道慈惠醫院看護婦として採用せられ相當の給料を得て一箇年半の後赤十字看護婦たる稱號を授與すること

▲生徒卒業後滿二箇年間は總督府醫院又は道慈惠醫院に勤務を爲し其後五年間は救護員の場合召集せらるゝ義務あるも結婚の場合は差支なし

交換手野遊會
京城郵便局の電話交換手百二十名は來る十三日の日曜日東大門外開運寺に於て野遊會を催す由

判任官郵便局見學
總督府にて地方行政事務講習中なる判任見習四十五名は去る五日矢島事務官に引率せられ京城郵便局現業の情態を見學せり

福岡縣視察團歡迎會
十二日午後六時より京城ホテルに於て福岡縣在有志者の福岡縣視察團歡迎會開催せらるゝに付出席希望者は十一日正午迄に京城ホテル事務所又は同視察團歡迎會係へ申込まれたしこ但會費は金二圓五十錢當日持參のここ

大掃除
=八日=

左記各町は大掃除を施行すべし
水標町、笠井町、黃金町二丁目及三丁目の一部、三笠町、永樂町、茶屋町、長谷町、南大門通一丁目、黃金町一二丁目の一部

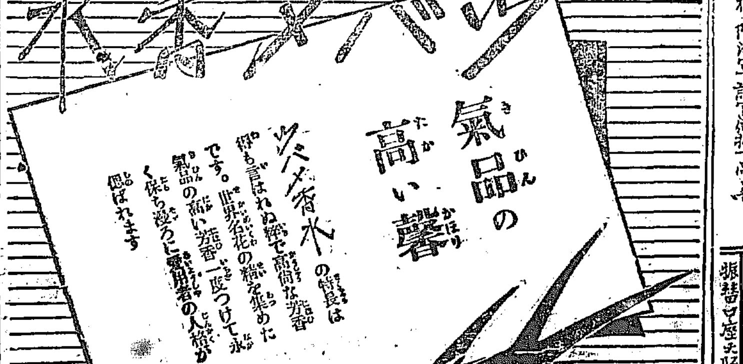
◎連絡船上陸客 五日
五日午前入港新羅丸一二等客 一等(十三名)森納須摩子、竹添福信、井田治、福田金三郎、岡田瑞子[illegible] 山田わし、丸山久松、同かの、北村末造、小倉松太郎、同靜子、同守清、柏井英太郎、角田近藤藤三郎、荻山國、李祥宇、方撲廸、中一正信、吉岡郡二、[illegible]、伊藤友吉、村田只長、神田松太郎、上城昭、中谷富吉、松本篤藏、同まさ、外人一名[illegible]

天氣 晴

開店御披露
特別大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
京城永樂町二丁目電話一七〇二番
富井吳服店

平和株の選擇
公債株式現物問屋信託
講和氣分の氣勢漸く多く今や賣投家は健實なる平和株の選擇に移りつゝあり
弊商會は常に有望なる平和株の撰擇に意を用ひ投資家の御下問に答ふべく候得は多少に拘らず御用命の程奉懇願候株式日報御申越次第拜呈可仕候
京城永樂町二丁目 電話二四九番
九五商會 有田長

製靴部擴張
防寒靴・學生靴・紳士靴・特價提供
登錄商標 八字式 毛織物類製 帽子、洋服、靴、防寒具、馬具、革具、調革類 陸海軍諸官衙御用達
香川縣善通寺町 千葉商會



AG三分計體溫器
株式會社東京竹內計器製作所製
大學病院 赤十字病院 陸軍病院 傳染病研究所 東京市衞生課 御用品
四大特徵 (1)示度正確 (2)誰にも見易し (3)感應早し (4)流して狂ひなし
農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付
▲優美サック入定價金壹圓五拾錢 送料十二錢
鮮滿總代理店パイン萬年筆京城出張所 京城大平通 電話長六〇〇九番
一手販賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話二三七九番

◎支那紙の論ぜし 金銀の禁輸觀

大陸報の北京通信に曰く支那政府は駐支外交團に對し金銀輸出禁止の可否を提議したが此擧の由つて生じたる所は米國に於て已に此種の禁令を發し金銀の流出を防止した方法に鑑み支那も自由に搬出させたならば國內の金銀は悉く外部に流出し財政上の困難に陷る事明瞭なれば今の內禁輸を實行したいと云ふ意味から出て居るのであるが之に對し外交團は前日討議をしたけれども未だ決議を見ないそれと云ふのは某々公使が本國に向ひ遂に同提議を容れざる樣訓電ありたしと打電し又極力

日本公使が反對

し此頑迷の禁令に對しては絕對賛同出來ないと剣ねたから纏りが付かないのであると云ふ記者が聞く所に依れば決して然らず蓋し日本公使は此事に關しては頗る宏大の見を持し將に同問題の內容を東京主務省へ轉電し其復命を待つて居るのであるが今尙は返事が來ない原因は內閣の更迭で未だ政見の確定を見ずそれが爲め遂に斷言する事が出來ず又

銀問題は甚だ重大

であつて直ちに外國に往還する爲替にも大影響があるのだから即決する事は出來ない以前支那人が阿片貿易に反對した當時其の理由としては煙土に輸入に依り生銀を流出して仕舞ふ支那公文は毎年それが爲め流失する銀が一千萬兩であると云つて居た然るにチンマオン君の詳細に調查した結果其質問を得たが其當時は實際流出であるか否か不明であつた然るに近年に至つては其の流出已に疑ふの餘地がない今即ち一千九百年以後に於ける通商地點より出入した銀の詳細表に示せば左の通りである

年度	輸入銀量	輸出銀量	差額
一九〇一	一四、三六二、四九六	二〇、四六〇、二九八	六百萬
一九〇二	一八、四三七、四七九	三三、二八二、一三三	一千三百萬
一九〇三	一三、〇〇一、一六五	二九、〇四六、五三三	六百萬
一九〇四	二三、五一八、六三八	三七、一二八、三六八	一千四百萬
一九〇五	三一、四二八、七三四	三八、六二四、九一一	七百萬
一九〇六	一九、三三三、七三八	三八、〇一〇、六〇六	一千九百萬
一九〇七	七、〇六九、六二〇	三八、二七七、七五〇	三千一百萬
一九〇八	二〇、一一六、六〇二	三三、三八三、五一八	一千二百萬
一九〇九	三〇、八六四、〇三八	二四、〇二三、六七一	六百萬
一九一〇	四四、五九八、五三四	二三、八〇三、八八七	二千二百萬
一九一一	六一、〇八二、九五七	二三、七七六、九五五	四千萬
一九一二	四五、〇九八、二九七	二五、八四九、六四五	二千萬
一九一三	五五、七一二、四九〇	一九、七三四、一二六	二千六百萬
一九一四	一六、四九八、七四四	三〇、一二一、六九三	一千四百萬
一九一五	二〇、七一七、五〇六	三九、〇九九、八二〇	一千九百萬
一九一六	三七、〇八八、三三〇	六五、七六六、四四六	二千八百萬
一九一七	二七、五〇七、二九二	四八、四九〇、三一〇	二千一百萬

右の表に依つて

見ると千九百八年迄は輸出超過で千九百九年以後千九百十三年迄は輸入超過である其後十四年から十七年迄は非常に多額の銀が流出して居る此十七年に於ける輸入銀總額は海關平均兩として四千九百六十萬兩輸出銀總額五千六百六十五萬兩であるから年々の流出は四百萬兩である然るに米國が金銀輸出を禁止したから

支那銀の流出は

更に其數量が增大される事言ふまでもない右の事情に鑑み支那政府は其外溢を防ぐ爲め禁止令を布かうとするのである列强果して禁輸の提議に賛同すべきか苟くも禁令を果して施さるゝとせば總稅務司に於て特別の護照あるものゝ外現銀を一切も出させぬ事にしたならば協約國政府に非ずと雖も皆生銀を買ふ事能はずと云ふにある（奉天）

◎滿洲に於ける 麥粉自作自給

◆奉天に會社を設立す◆

南北滿洲に消費される麥粉は其數量實に莫大の額である就中當奉天は各市場中隨一の消費地であつて或筋の調查統計に依れば奉天直接に消費されるものと各地に移出入されるものとの合計は昨大正六年度に約百五十萬袋であつたが本年度は既に

二百萬袋以上に達

し現に奉天目下の在荷だけでも七八十萬袋はある其內露人即ち哈爾賓方面で製造した麥粉が其の四割を占め次には

鐵嶺製粉の製產品

約三割と他は上海日本及び土地產が一割位の製粉額である斯かる有樣であるから奉天は滿洲に於ける麥粉市場として最も重要視され漸次消費增加と共に移出入の麥粉の數は

尙ほも激增の趨勢

あり各地製粉舊つて增產を企てつゝあるも北滿各地西伯利方面等に於ける物資缺乏甚だしきものあれば麥粉の需用は殆んど無限と云ふべく右に鑑み地位の都合上最も便利なる奉天に土地の有志連が

奉天製粉株式會社

を設立し製粉事業に着手したならば定めて有利事業なるべしと目下頻りに取沙汰され出した而も同發起者は奉天に於ける相當有力者であるから必ず創立の運びに至る事であらう同會社の設立を見ば奉天麥粉界は一大變化を來す事であらう（奉天）

◎柞蠶と屑繭

◆屑繭五十萬斤の利用◆

安東縣に集散する柞蠶繭は一箇年約二十五億萬粒にして目下柞蠶製絲に從事するもの三十戶約一萬二千枠と稱せらる、而して元來柞蠶絲は繭二十萬粒を以て製絲百斤を得る勘定にして上等の絲を取りたる以外の屑繭は頗る多額に上り安東縣及び其附近に生產する屑繭は一箇年四十萬斤乃至五十萬斤に達する見込みなるが從來この屑繭を原料とする工業は行はれず主として上海に輸送し同地に於て加工の上米國其他へ輸送せられ來たりたるを以て安藤洋行は茲に見る處あり昨年來六道溝に於て絹毛紡績工場を建築中なりしが既に建築物の大部分を竣工し製絲機械は既に据付けを終り目下製絹機械の据付中に屬し紡績器械の到着は來春ともなるべきかと云ふ是に就て安藤洋行某氏の語る所によれば屑繭絲を上海に輸出するとせば輸出稅五分。輸入稅二分五厘を要し運賃其の他の諸掛りを計上するに

☆牛と平壤☆

◆名物の牛が殖ゑる許り◆ 婆アさんも子供も牛のお守

平南に於ける畜牛の增加に就ては本紙の既に報道せし如く昨年以來畜牛著しく增加し殊に本年に至り農家一般の金融極めて好調を呈し之等の資金は其の大部分畜牛購入資金に充當せられつゝある現狀なり而して此と同時に一昨年來牛價の騰貴と共に農民の畜牛に對する思想漸く一變し來り生前に於る皮膚の保護及び疾病治療に對する觀念を强め飼養管理殊に冬期飼料に關する留意の種牡牛尊重の自覺の犢賣買の習慣減じ自家育成の氣風を生じ尙食用肉は自然豚肉に代る風習著しく目受けらるゝに至りし等其主なる變化にして何れも畜產諸施設の實施上意を强ふするに足るものあり頃來山野路傍畦畔に畜牛を牽き朝夕自由に放養せしむる老嫗牧童の群隨所に見受けらるゝが如き實景は寧ろ其以前の實況に復舊せるの奇觀を呈し居れり之を要するに一般畜牛思想の如何に勃興せるかを窺知するに足ると共に一面本道內の產牛は益重視さるゝに至れりと（平壤）

於ては上海到着にて百斤約十四兩即ち現在日貨三十三四圓に相當するを以て之を安東にて工場操業せば其の差額のみにても莫大の利益を見る勘定なり安藤洋行に於て最近に着手すべきは製絹製絲の二工業にして各機械の到着の上は蒙古地方より羊毛を取り寄せ絹毛紡績に着手するに到るべしと（安東縣）

◎紛議を根絕す

◆朝鮮輸入の關東鹽◆

朝鮮に於ける需要食鹽は尠からず關東州貔子窩より輸出せられこれと同時に支那人が山東方面より朝鮮に密輸出する食鹽又少からざる模樣なるを以て支那官憲は海上に於て屢々食鹽積載の船舶を臨險し密輸出の處分を行ひ居れるが關東州より公然朝鮮に輸出する船舶も往々此の密輸食鹽と誤認せられ紛擾絕ねざる有樣なるを以て都督府にては十月十日より關東州より朝鮮方面に食鹽の輸出を爲す者に輸出證明書を交付し支那官憲の疑惑を防ぐ事となりたるを以て從來の如く誤認紛議の起るが如き事なかるべきと同時に支那人の密輸入者に取りては不便となるべし（大連）

◎吉長線隧道

久しき以前より懸案なりし吉長線十門嶺の隧道掘鑿工事は滿鐵に於て同線を管理する事となりたる關係上迅速の進捗を見今次急遽同隧道を開通せしむる事となり過日大倉組外三工事業者に指命入札を行はしめたる結果三十七萬四千圓を以て大倉組に落札し今年冬季を以て作業を成すべく目下著々準備中なりと云ふ而も該隧道にして竣成の曉は從來峻坂の爲め同樣に見る牽引力を阻害され來りし大弊を除き持んで工事費用の如き一二年間に回收し得べき見込みなり因に隧道掘鑿工事は石質の穴中作業なれば諸工費の廉なる冬季を以て最も適當の期なりしと常冬期中に於て相當進捗の運びに至るべし（奉天）

◎共同軍票の議

今回西伯利亞に於て聯合諸國側共同にてルーブル軍票を發行せんとの議あるやに傳へられつゝあれどコハ各國とも其利害關係區々なるを以て到底其實現を見るは困難なるべしと云ふ者あり（奉天）

◎紙幣暴落影響

俄然大暴落を來したる奉天小洋票は支那錢業者間に莫大なる損害を蒙らしめ又一方邦人輸入商に對しても多大なる痛手を負はせたる次第なるが向後に於ける滿洲貿易は輸出の大宗たる特產物を控へ居るに足らず日本側貿易の全體より論ずるに却つて有利なる傾向と云ふべく併し今日の如く變動極まりなくては算盤を取るべき標準立たず輸出入業者共互に苦痛を感じつゝあるや疑ひなく一日も早く根柢ある奉票價格の確定を望みつゝあり奉天紙幣果して動搖なきを得るや否や（奉天）

◎何と云つても 未だ奉天邊は 暮し好い所がある

米が高いとか暮しが骨が折れるとか云ふた所が奉天の如きはまだまだ榮耀な日を送つてゐる事が明かに見ゐると云ふのは嚢に滿鐵は米價調節窮民救助の意味で調辦所市場地方事務所民會と買に行に都合のよい所に託して外米を賣出した併し其外米の賣方を見ても奉天の豐である事が明かに窺ひ得られる外米賣捌を始めてから已に五十一日を經過した今日迄賣出した總石數が並米六十八石四斗三升（二十一錢）上米三石九斗四升（三十三錢）であるこれを一日に平均すると僅に一石四斗八升一合である奉天居留民一萬人に割充てたなら僅に僅少なものである此等の點から察してもまだ奉天は暮し好い點があると云へる（奉天）

◎滿洲に於ける 本邦人營農者 に喜色あり

數年來の失敗を恢復す

滿洲でも本年は到る處豐作の聲を聞けるが殊に四平街及虹牛哨（即ち四平街地方事務所管內）方面の本邦人經營農作物は近年例なき豐作にして中には數年來打續き失敗したるものを今年一年にて回收したりとて大に悅び居れり（四平街）

◎十九萬圓の工事

城津鐵道建設事務所及び社宅新築工事は這般龍山京管局に於て十八萬八千四百圓にて松本組と契約成りしが同工事は十月初旬より起工さるべく社宅の位置は本町裏山手にして竣工期は大正八年十月なりと（清津）

◎鴨綠江流域の石炭礦區

◆總額六萬二千噸以上◆

滿鐵鑛業部販賣課安東出張所長橫竹軍三氏の語る處を聞くに同管內は朝鮮は平安北道一圓、安東縣は鳳凰山近及び鴨綠江の上下流一帶なるが昨大正六年中の有價販賣高は撫順炭三萬六千噸、本溪湖炭三千三百噸、約四萬五百噸なりしが本年の計畫は種々の狀況により非常の增加にて撫順炭五萬五千四百噸、本溪湖炭三千九百噸、牛心臺炭二千五百噸合計六萬二千噸に上り居れり其の增加の主なる原因は各種大小工場の激興增加は主要なる原因とも見るべく亦人口の增加に伴ひ採暖用としての需用も年々增加の見込なり追々需用期に入りたるも貨車の配給意の如くならず配炭上に就て多少の苦みを嘗めつゝあり（安東縣）

◎獵地としての江華と 產物品評會 仁川附近の獵地

江華島（京畿道）は銃獵の獲物多數にして京仁方面より遠征者多く殊に京仁狩獵團は毎年江華島を根據として狩獵會開催を見居れるが本年は島內狩獵者例年より著しく增加し解禁當日より勢揃ひの有樣にて狩立てつゝあり而して同郡にては郡內重要物產額に產品評會開催の計畫中にて近く之が開催を見るならんとこへるが折柄の獵季にて一層賑ふことならん（江華）

◎紙幣暴落影響 黑鉛界の救濟

◆同業組合を設けて◆

現時朝鮮に於ける黑鉛界は沈衰其極度に達し斯界當事者の懊惱亦甚だしきを見るに至り此が救濟善後策に就て何れも吸々たるの狀態にありて此が爲め本品の產地たる京畿各地に於ける經濟界と大打擊を蒙り市況亦閑散を告ぐるの悲境に沈淪し今や斯業に從事するもの漸次減退の趨勢を呈し殖產興業上甚大なる影響を齎らしめつゝあることは本紙の屢々報道せしところなるが素より這は生產超過に因すべきが之が救濟策として生產品の貯庫最も必要を叫びつゝあり茲に於て斯界の有力者たる谷口藤井福井藤山等の諸氏は沿線業界の發展を圖るべく先づ平壤に黑鉛產業組合を設け平壤に貯庫を建設し以て斯界不振の挽回を圖り尙は救濟策の一途として今回設立されたる殖銀に對し出資方の交涉を開始するの計畫にて此が爲め來る十一月一日商業會議所に開催し具體的建案の下に討議すべく既に夫々準備中なりと（平壤）

◎松茸

鎭南浦市場に例年現はるゝ松茸は殷栗、安岳方面より來るものなるが本年は例年に比し非常に迅しく爲めに相廻り薄しと（平壤）

◎軍夫を犒ふ

◆四平街の官民有志が◆

四平街地方民會にては不日總會を開き會長以下役員の改選をなすことゝなりしが折柄時局の爲め召集されたる軍役夫が解散され四平街に歸還するを以て全部歸來を俟つて總會を開くと共に召集されたる軍役夫の爲めに家族慰勞會を開催せんとの計畫ある由（四平街）

◎理事殺害事件後報 强盜の所爲に非ずとの認定

平北江界金融組合理事西山榮氏が自宅に於て何者にか殺害せられたる後報によれば西山氏の傷は右耳上部に長さ約五仙米突深さ骨に達する裂傷の致命傷並に全身に亘り數箇所の擦過傷を受け

◇◇無慘にも腦漿を露出し妻女文子は右上額部に長さ三仙米突深さ二仙米突の是亦裂傷を被り居たり兇行の現場には机上に金側懷中時計及び現金在中の紙入等其まゝに存在し事務所內に備へ付けたる金庫も更に開閉せる樣子なく中山憲兵分隊長塚原郡財務主任立會の上

◇◇金庫在中の保管金を嚴密に檢查したるも遂に其異狀なきを確め得たるを以て加害者は全然强盜に非ずして西山氏に對し何等か怨恨を抱ける者の所爲なるべしとて其筋に於ては某方面に對し搜索を續行しつゝあれば

◇◇遠からず其兇險擧を見るなるべく尙目下追々快癒に向ひつゝある西山氏妻女の語る處によれば同夜西山氏は十一時頃歸宅約一時間も雜談したる後就寢したるが子にても倒れたるが如き物音に眼を覺したる刹那一人の曲物押し入り來り

◇◇頭上より毆打せんとする氣勢なりしかば吃驚して布團の中に潛り込みたるまでは記憶するも其後のことは一切覺わずと語れり尙右犯人の使用せる薪割用手斧には『原田』と云ふ姓を記しありて同地にも同姓のもの在住すと（新義州）

花野

◆史蹟 池內帝大助教授は舊義州にて義州城外壁の蹟を發見せり
◆元山 日蓮宗日運寺本堂落成し五六兩日盛んなる入佛式を擧行
◆長春 漬物用四斗樽相場三圓で中味の漬物の方が安いとは滑稽
◆白米 一斗ニコラエフスクで三十五圓雞一尾十圓更に可驚きは
◆洗濯 賃ワイシャツ一枚一圓五十錢ハンカチーフ一枚三十五錢

◎逃亡した兵士 入營前に前科二犯

大分縣東國東郡西安岐村大字瀨戶田井上廣吉(二三)は昨年十二月步兵第七十七聯隊第二中隊に入隊したる者なるが平素素行修まらず且入隊前に前科二犯を有し成績極めて不良の者なりし爲營倉に入れられ同中隊が守備隊として義州に駐屯中一度逃亡したることあり其際直ちに憲兵に探知せられ終に逮捕せられしも隙を窺ひ銳利なるナイフを以て割腹を企てたるも憲兵の爲め取押へられ應急手當を加へ平壤衞戍病院に療養中八月十一日全治退院し引續き廿日間重營倉に處せられ漸く滿期出監したるものなるに又々四日午後六時頃より行方不明となり搜査の結果逃亡したることの判明したるより平壤憲兵分隊にては目下搜査中なりと（平壤）

◆兜と針◆

歐洲の大戰で種々な古代の武器が復活して長い間博物館の塵に埋もれて居たのが現代の科學的兵器に交つて重寳がられるやうになつた其中でも目下歐洲の戰線で飛行機の上から

◆撒く鐵の針◆ の如きは昔希臘の攻城戰で盛んに應用されたものださうな、

今度米國陸軍省が官報で報告したのを見ると、當局者は專門家を招聘してオトロポリタン博物館の中にある有名な古代武器に就て一々其行効率を精細に研究して居るが近頃になつて現に使用が出來るといふ

◆甲冑が數種◆ 發見され其中には日本の鎧も交じつて居るとの事である、そこで、米國は近く甲冑製作所を設けて右數種の武器に就て其製造法を研究する事になつたさうだが、現在甲冑製作に熟練な職人を求むると、世界を通じて僅に

◆六人の名工◆ がある丈で獨逸に一人、瑞西に一人、倫敦に一人、日本に二人、而して殘りの一人は目下米國陸軍少佐ディーン氏の下で甲冑製造に從事して居る佛國人であるといふ

◎蒙古と朝鮮と 馬の取替物語

◆仲人は鮮銀の支店長◆

蒙古オンドロ王府の王樣が朝鮮馬を買つて子供に乘せたいとの話を朝鮮銀行の伊藤四平街支店長にした所伊藤氏は早速大邱の勇澤慶北道技手に其旨を相談した其れでは蒙古馬と朝鮮馬と交換したら妙だらうと云ふので牡牝各一頭宛を提供して交換した王樣は子供よりも大喜びだとの事（四平街）

◈途上より◈

犬童生

（一）海州にて

喜色滿面の農家

柴田嗣兄、小生は九月三十日午前十一時六千噸級の南陽丸に客となつて田舍の農況を調ぶべく海州へ向ひ申侯鏡の如き港內の波を辷つて外海に出ると流石に潮疾く波荒くして船は大分ローリングをやり申侯陸上の猛者も海の上では更に一堪りもせず秋酣な島が根の眺めもあつたものに非ず船室に青くなつて金盥の厄介になり申侯、其夜十一時龍塘浦上陸、先づ田舍者の爲めに一驚を餘儀なくされたのは仁川ならばお醫者樣の外に見る事の出來ぬ空氣入ゴム輪の人力車が七八臺も梶棒並べての客待ち姿に候仁川の街の人は黃海道の片田舍で先づ荒膽を拔かれた事を御記憶被下度候今一つは海州に上水道の設備せられたる事にあり如何にも道廳所在地としての貫目を擧げたかの樣に候農作の本年は意外の增收農家は總て喜色滿面たるを見受け申候米の仁川もお蔭で今年は賑ふ事かと存じ侯當地方は物價騰貴の聲などは餘り耳に致さず候矢張り農家の懷具合潤澤の故か、小生は明朝沙里院へ出發の筈に侯

（張三李四）

◆怪しき氷庫の火事◆ 群山龍財洞李凡載所有氷庫より去る四日拂曉出火し一棟燒失鎭火したるが出火の原因に就ては放火の疑ひあり目下嚴重に取調中なりと

◆飲での上の無分別◆ 兼二浦笠井某方同居人茨城縣生れ鍛冶職藤田新吉(三〇)は泥醉して東兼二浦里大正樓前にて通行人に暴行を働きし爲め引致せられて科料

台所 其の日（くらし）

◆馬鈴薯胡麻酢和◆ じやが薯の皮をむき縱に四に切り小口より薄く切り鹽ゆひになし軟かになりたる時に水氣を去り胡麻を洗ひ布巾にて水氣を拂り焙烙にて程よく炒り擂鉢に入れよくすり砂糖と酢を加へます掻ぜ裏漉せるものにて和るなり

五十米突四方で居る兵士を悉く全滅さす

回のみ

五十米突四方の兵士は全滅せしむる事が出來る次に榴彈銃は三八式が近迫するを殺しやうといふ新

彈丸の長さ五寸（の直徑五分）（約一寸八分）である

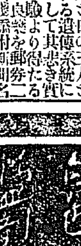
三等、百十七名

るいれき

瘰癧病にて頸部腋下等にグリグリが出來永年困難の病者も手術を要せずキレイに治する効能正しき良藥あり同病者救助の爲め分與す此新聞名を記し往復端書にて申込あれば詳細に返信す

播州明石郡神出 西光寺 執事

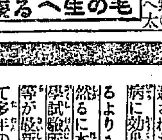
中風病（ちゅうき）



余が家は祖父及び父と同の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其患き質驗より得たる良藥を郵券二錢添附新聞名記入照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の按摩書無代進呈す

▲兵庫縣明石中町 加古忠兵衛

○ぬり藥だけでは毛は生へぬ



三博士の審查質驗の効力確實なるにより今回名誉の一等賞金牌を受けたる本療法は在來のヌリ藥だけで毛の生へぬ人も僅かの日數で禿頭病、腫物、眉毛、生際の薄毛、有るべき所に毛の無い人も初ムク毛の樣な細毛が生へ太く濃く普通の毛と變らぬ立派な毛となる、毛髮惡しく人知らず苦しに泣き夜に迷ひし人の爲め此の一等賞金牌受領の紀念すべき療法見本全部を毛の生へるまで無料貸與ハガキで申込ば

東京築地入船町一ノ一 野村

毛を黑く長くつやを出し

赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙

本舖 大阪西横堀 三宅堂

軍隊拂下大安賣

▲茶褐外套
▲冬茶褐小倉服
▲アイボーシヤツ袴下
▲冬羅紗服ジヤケツ
▲軍帽、靴下、雨合羽

右特別大安賣可仕候間多少に不拘御用命願上候

龍山元町二丁目 川本衣服店 電話五六 振替口座一二五六九

直輸入新式捕獸器

◆けものとるきかい◆

說明書定價表往復ハガキにて御申込み次第送呈仕り候

天產物 毛皮高價買入可申候

肥料 廳員田 貿易商

橫濱市住吉町一丁目（公園前） 吉川米次郎商店 振替口座東京一二四二〇五

選擇の必要なし

◇只ペーリンを服め！
◇ニキビそばかすはとれ
◇色は著しく白くなる

白色ペーリン

白色淨血劑ペーリンは日本人の體質にかなつた顏ほども害のない最新の內服皮膚病藥である。而してニキビそばかす其他一切の皮膚病は消化機能の異常な作用から發生する毒素に原因することは歐米近代醫學の證明するところである。故にこれまでこの病理を無視して製造された一時的の塗抹液が同病に效果ないことは火を睹るよりも明かである。然るに本劑は本房化學試驗所技師藥學者等が最新智識によつて多年の苦心と多大の實驗とを投じて發見した內服藥で同病に卓効あることは世人がひさしく認めてゐる。

たゞ一つ。あなたのニキビを綺麗さつぱりと取のぞき、或ひはそばかすをとり色を白くするのは本劑あるのみ。ひとたび白色淨血劑が社會に提供されるや、全國の青年男女諸君は競つて本劑を試用せられ、その効果の偉大を知るや續々と熱狂的歡迎をうけ、快癒幸福のあまり寄せられる證狀は實に數萬通に達してゐる。ニキビそばかす色黑に惱む人々よ。諸氏は自身の聰明なる判斷に從順なれ。而してあなたの判斷に從つて白色淨血劑ペーリンを即時に服用されよ。

試藥大提供 試服御希望の方は卅五錢送付あれ「最新皮膚病治療法」を無代にて添へ直に送藥す。

（日本政府登錄商標） 白色ペーリン

藥價 金六十錢（四十五錠入） 金一圓（九十錠入） 金二圓（二百錠入） 金三圓（三百錠入） 金五圓（五百四十錠入）

東京上野櫻木町四十 英國エーボール會社製藥輸入元 藥用化粧用ペーリン本舖 合名會社 博仁房 電話下谷二八八一 振替東京七〇六〇

◎全國の藥店化粧品店にて販賣す

商況

東京期米特電
七日前場　三十二圓十五錢

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電

銘柄	拂込額	五日後場
宇治川水	五〇,〇〇	…
京阪電鐵	五〇,〇〇	…
阪神電鐵	五〇,〇〇	一〇〇,一〇
合同紡績	二〇,〇〇	…
鐘淵紡績	五〇,〇〇	二四九,五〇
同上新株	四〇,〇〇	二二七,八〇
東洋製糖	五〇,〇〇	…
大阪商船	五〇,〇〇	一〇六,八〇
日本郵船	五〇,〇〇	一六八,四〇
同上新株	五〇,〇〇	一三三,四〇
堂島米穀	五〇,〇〇	一五二,四〇
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
四日後場　十月限　四二〇,〇〇　十一月限　……　十二月限　……　一月限　……　二月限　四一四,六五

大阪期米特電
五日前場　三十三圓九十九錢

下關期米特電
四日後場

雜報
七日前場　綿、通貨收縮外來代用說を賣る…寄付　高値　安値　止め

●正米底強し　過日

來南鮮を襲ひ來りし地場正米は日曜前の期米暴落の影響を受け一時氣配保合の模樣にて昨日曜日の市場は約二十錢安の見當となり眼鏡更に軟味の氣分ありしも鎮南浦市場は別項の如く釜山方面入氣高を發せる外内地及元山方面より引續き高値の白米注文入込むのみならず仁川方面の玄米買附行はれ昨日よく東幕及鎮南浦方面を荒し廻れる由にて再び相場引戾しの形勢を示し來れば一般氣配は何れも強氣に傾き昨二十錢方引戾し正米價格は例外として一般の如き商況は稀に來れるものありと雖も今にて自然上値を辿るの止むなき成行きなるや否や一般に强調を見せ案外脆き崩れを見る事ある可し

●綿布行當り

綿布は品薄と弗々相當買等に依然强硬の成行きなりしも昨日は地方相場にて三品の四百圓臺割れに反發し崩れたると同時に地方は安報ありし爲め市中は十錢方安くなり三十三圓七十錢(?)見當にて三銘十三圓七十錢落ちせ(?)五七圓低

●銅價漸次昂騰

銅は米國公定相場の引上げ氣構へと電氣銅の安那輸出等の影響を蒙り市價漸次昂騰して市中は最近約七圓高の純銅八十七圓見當に上り大阪相場に比し稍安を唱へられつゝあり

●鐵材依然不味

秋季需要最盛期に入れるも商人筋の嫌氣投物弗々出現したるは屢々報ぜられたる通りなるが依然産地の人氣安からぬ爲め市中にて相當買ひ物のなき爲め…外國物は更に輸入なく手持筋は何れも寺荷薄なれば一度市價の買氣現れ來らんには一氣に活躍を示すやも計り難し

丸鐵は在荷潤澤

丸鐵は大體底堅き成行を辿り居れるも相場を支へつゝあるが角鐵は在荷潤の爲不賣行なるが薄板物は依然高調子にて四分以上は殊に手堅く釘類は…拂下品の潤澤を氣構へて安値待ち見送りの姿なるも強弱…

●銑鐵は軟調

銑鐵は一時五百圓臺を突破すべしと豫想されしも其後買氣減退し共に漸く行き惱みの商勢なるが今は十圓方下押しして四百八十圓見當を保ち合ひを報ずる

係が漸次緩和の傾向

需給關係が漸次緩和の傾向を示したるは…

●鉱力板小弛む

鉱力板は昨今内地在庫の比較的潤澤を唱へ氣配又軟味を傳へられ最近一圓方低落して百四圓見當を唱へらる

●白米値上げ

白米は内地より相當高値の注文續々到來し元山方面よりも續いて照介ありて氣配五十錢方値上げ…

●内地小麥下押

小麥は賈買兩天手筋の見み合ひにて持合ひし傍ら最近一般の實況び傷びし傾きを見せ昨今は…

下關相場

●鮮米は弛まず　其後白米七百六十四叺中白米七百六十四叺…

釜山物産市場　六日

▲玄米掃底れ戾す…

京城正米市場

昨六日は日曜の事とて賣人出場者少なく又賣物も不揃ひにて殊に土曜日の期米暴落後と見る…約二十錢安…

南大門廻穀

仁川正米

▲水原米二四叺…

生魚市場

京城日丸市場

本日は入荷少なく氣配好し…

仁川期米

七日前場（保合）

▲第一節　先二十七圓丁度と一昨止同…

大暴跳返移

裡に小堅

依然保合の

市場雜觀

▲一昨日後場は各地高報著るしく…

七圓三十錢の大下鞘に在る關係

上割安の感

▲大阪五日後場

手數料問題

北濱たより

全高田仲買店
株式會社仁川米豆取引所仲買人

仁川海岸町　三丁目
電話長二一九

仁川米豆取引所
七日の十二月限

東京大阪の間二圓以上の大逆鞘

●市況は大阪の大變動を報じ居るも當地は入氣…

朝鮮は無難に經過し空前の大豐作

毛谷村六助　卅六番角力

第廿八席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

立花三河守樣の御前に於て彈正と六助の立合、双方共に三四合打合つて居りましたが、六助は豫ての手打込む太刀を輕く開くに、如何したるか開くを幸ひ彈正は勢ひ込んで六助の肩間を臨んで力に任せてエイと打つ、通常の武藝者なれば强力の彈正、殊更木太刀は筋鐵入り腕骨砕けて絕息する處だが、六助は奇代の名人とヒラリ體を交したが、僅に切尖が左の小鬢を掠つて血はタラ〱と流れ出ました『參つた』と肩間を押へて後へ退り『恐れ入りました』と始め一同はドッとばかりに賞め讃へました。彈正此處へ、見事ちや賞め取らせる』六助へは何のお訶りもなく

松『旦那又お氣の毒だが何うぞ御飯を上がつておくんなさい』六『あゝ宜いとも〱』松『イヤ然う云はつしやるだけに猶お氣の毒だ、何さお前樣、あゝして毎日三十人も五十人も來て食ふだから其つもりで仕掛けた處へ一人も來ねえだもの是れには俺が閉口したよ』六『あゝ然うか、それは困るだらう、些かくならん内に早く施して遣れ』松『イヤ如才なく遣つて居るだ、却々遣り切れねえ』と七八人無遠慮に入つて來るは何れも樵夫又獵師で皆が『ハイお賴み申します』六助先生は居さつしやるかね』松『あゝ旦那はキヨロ〱しながら皆の衆じやござるが、お前方は山下のア無いから』○『イヤ松藏さんか、

北條御退出になりました、彈正は肩を殺ち改めて殿の御前へ出で暫時に御酒を下され約束通り五百石にてお抱へとなる、微塵流の御手直し番仰せ付られる、彈正は面目を施し其の日は退出、翌日係りの役人より案內を受け美事なる居敷を玉はり、早速其處へ引移りまして、腹の中では喜んで居りました、此方は六助、喜んで居りました、此方は六助、小賢の傳を手當てをして『六あゝ未熟な者は仕方がない、勝つべき手まで敗へ遣はしたるに此の不埒は何の事だ、鬚が熟して居らぬは御前所へ出て周章るものと見ゆる、まア宜い、皆是も彼の者が親孝行の態ぢや、あの衰へたる老婆もさぞ喜んで居るであらう』と怨みも抱かず毛谷村へ立ち歸る、偖其の翌日からは五月蠅に繁々と稽古に來りし門人も小僞を始め一人も來なくなつた、六助は却つて世話の無いことさと喜ぶ位でございます、昨今雇ひました下男の松藏を呼んで『六松藏や』松『ハイ』六『空腹になつたから飯を出してくれんで

お前が此家にござるかと云ふでそれを便りに來たが、先生のござるを幸ひお前樣から賴んでくんなさい』松『それ默目だ、俺が先生は武家だつて容易に稽古をなさらねおが前等は百姓、賴んだ處で所詮稽古はなさるまい』○『イヤサ稽古と云ふ譯ぢやアない』松『何の願ひだ』○『聞いて下され松藏さん、此の五郎八の婆樣惡い奴に出つ會しむごたらしい殺されやう、此間峠の掛茶屋へ何者か來て伴れ出したがそれぎり戾らぬ故何うした事だと村中の偉い騷ぎ、捨ても置けねえ搜して見ると皆な谷間を詮索するど鬼谷の岸下にころげて居たは婆樣の死骸、イヤもう情ねえ血みどろ血がい、肩から腰骨へかけて眞二つい、五郎八は腰をぶん拔かすそれはく今此處で話す樣な事ではない、偉いことでござつたぞよ、まアやう〱泣き止て、泣た處が仕方がない、是までの壽命と諦らめさいふ樣なもの、へ親子だもの諦らめのつくものぢやない』是は何んでも城內の惡い侍がした事だ、

山賊のした事ぢやアねえ、何んで阿婆の敵は城內にあるだと云ふて、此の五郎八からお願ひ申すのでございます』

○安東縣近事

▲勸業債券賣高　安東縣郵便局に於て第七十回勸業債券三百五十枚を賣り出したるが内三日午後迄二百五十枚を賣りたるも猶百枚の殘りありとの事なれば二千圓の當籤を夢みるものは至急買ひ込むべし
▲森脇警部出張　安東警務署森脇警部は旅順高等法院にて開催する司法官會議列席の爲め五日午前十時四十分發列車にて同地へ出張せり因みに安東領事館金子書記生も同様の目的にて出張せり
▲南地の誕生料　安東縣南地遊廓に於ける去る九月中の水揚高即ち誕料は三萬一千五百十七圓五十七錢にして前月に比し二千二百餘圓
▲白國公使一行　白耳義公使一行五名は五日午後八時四十分發列車にて安東通過北京へ向へり
▲小學校開校式　新築安東小學校開校式は六日午前九時半より同校に於て舉行同十一時より祝宴開催正午閉會展覽會を開き來賓及び一般人民の參觀を許すべし
▲中田貨物主任　安東驛貨物係主任中田末松氏は嚴父病氣危篤の報に接し郷里に歸省中の處病氣全快にて付三日午前着の列車にて歸任せり
▲柞蠶豐凶豫想　安東縣附近に於ける秋柞蠶の豐凶如何に就き信ずべき支那人の語る處によれば鴨綠江畔に於ては約七分安東縣に於ても同樣なるが更に遠鐵本線即ち鳳凰城方面に於ては約五分收穫位に過ぎざるべしと云ふ
▲大連着船成績　去る九月中大連着船安東出張所に於て取扱ひたる貨物の概要を聞くに大連に木材二萬二千二百三十五連、上海へ木材六千三百五十一連、天津に雜貨三千百十六個、大連へ同上七百六十九個、輸入天津より雜貨二千六百個、大連より同四千〇七十九個也

暦
十月九日九星　壬九月四日己丑　本命八白　艮　平　先勝

▲入佛　因果應報の事有日新事見合せ…　▲九紫　大の事有…吉方なり…▲一白　望みの事…▲二黑　有が…▲五黃…▲六白…▲七赤…

演藝案內

壽座
本町三丁目　電話五七八番
富る十月八日初日狂言
▲一番目狂言　元祖兵衞尺士…
▲二番目　義士傳…
▲切狂言…

有樂館
二十一手代理店
早川演藝部直營　活動寫眞常設館
電話（ほ）五九七番
富る十月四日より特別大興行
▲新派　人情劇故郷の母　全五卷
▲大活劇啞娘　全八卷
第三灰色の幽靈

壽館
本町二丁目　電話一〇五〇
東京名士出演　浪花節新進之奉斗大會
…

大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
櫻井町　電話八七三
富る十月四日より秋季特別大興行
滑稽デブ君の僥倖
絕海奇談『孤島の花』
新派悲劇金色夜叉

黃金館
二十一手代理店
電話（書間）二二六六（夜間）二二六七
疑問の死　全四卷
先驅の叫び　全六卷

浪花館
明治町二丁目
電話二六〇番
京阪落語若手大一座

富の道しるべ
山梨五十雄氏著　價十五錢　郵税二錢
京城代理部

毒病　りん病　ばい毒
時々いからとて油斷すな今は病の進む時であるから此機を外さず東京花柳病科に…
京城南大門通　丁巳堂藥院

醫學士宮田敎律氏發見

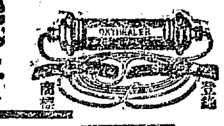
產科婦人科　二宮醫院
京城壽町　電話一二〇一番
醫學士　二宮亮吉

山脇喜久一
振替口座東京一六六五六

朝鮮銀行
京城
電話六〇一
振替貯金口座京城三
當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、鎮南浦、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海、天津
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

ペニロン……は
高橋博士監督の下に三共の新藥を原料とし苦心の結果發見せられたる效能確實なる
內服淋疾新劑にして
之を服用するも胃腸障害食欲不振等の副作用を起さず急性慢性の淋疾に驚くべき效能あり
定價七拾錢　壹圓貳拾錢
全國藥店にあり
東京　泰昌製藥株式會社

酸素療器



オキシヘーラー
▽實驗例說明書贈呈△

▽オキシヘーラーの顯著なる其使用價か五分間を出でずして三乃至五日の血壓を兀め一時間を細檢すれば實に十乃至三十日の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる
▽靈妙なる磁氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎮痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也
▽特色（使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要）
■正價金參拾五圓■

東京市牛込區簞笥町三十一番地
オキシヘーラー獎勵會
電話番町四八六九番・振替東京二七一二番

TAKA-DIASTASE

高峰博士發見
タカヂアスターゼ

本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に效力減却するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。
內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。

東京室町
三共株式會社

京城日報

本紙定價 一ヶ月七拾五錢 郵送料…
廣告料金 五號十五字詰一行…
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 奥田直
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

第五版

◎澱粉相場低落

平和の漸次に接近するものと觀測

國本培養論（四）

中井錦城

次に森林の經營を急務となす、朝鮮の森林は何人も默認する所にして、近來漸く好色を呈するに至りたる如きも、未だ森林を成すに足らず、猶ほ一層の成長を祈らざるを得ざるなり、而して朝鮮の山獄には如何なる樹木を植うべきかは、是山林學の一大問題に屬す、余の見る所を以てすれば、漆の樹を植るに若くはなしと信ず。漆器は日本内地の美術品にして寫に漆器の英語なるGapanは、遂に西洋人の稱する日本の用語となるに至れり、然るに漆器の原料なる漆は最早内地に乏しくなり、其の個は支那より輸入するものあるも、性質不良にして漆器の塗料に供すべからず、依て已むを得ず之を朝鮮に仰ぐの外なしと謂へり、朝鮮漆の性質は極めて良好なるも、朝鮮の空氣乾燥せるが爲め、漆器の製造には適せず、唯内地に漆の原料を供給するに止れど、其の原料こそ漆器製造に於て必要なり、されば茲に漆樹の栽培會社を組織し、總督府より山地の貸付けを受け、之に漆の樹を栽培し、其の液汁を内地に移出するとせば、必ず莫大の利益を得ん、或は曰ふ、漆樹より液汁の收穫を見る迄には、多少の歳月を費さゞる可らず、其の長期間に亘つて利益の配當なきことは、會社の堪ふる所にあらずと、漆の養生擬なるものは護謨樹の如く、僅に栽植後六年目より開始す、今や内地人は南洋に於て護謨會社を作り、護謨を栽培して、皆六年後の收利を待つにあらずや、護謨既に六年後の收利を待ち得らるゝに、何ぞ獨り漆樹のみ待たれざるの理あらん、朝鮮に於て苹果を植うるも亦然り、是も六年を待たざるを得ず、或は又曰はん、漆汁の生産剩過に至らば、其の價格を低落せしむるの虞あらんと、漆は恰も護謨の如し、護謨の生産剩過して價格低落すれば、道路を始めとして百般の用途に供せられ、需要又激增して其値段を引返すべし、漆も亦生産剩過して價格低落すれば、各種の塗料に應用せられ、値段忽ち引返し、猶ほ或る程度の價格を維持するを得べし、果して然らば漆樹栽培會社は決して組織せられざる底のものにあらず、要するに内地人の之に氣附かざるに依るのみ、若し何人か此の事業に着手すれば、誰も彼も之に倣ひ、續々漆樹栽培會社の興るあらん、斯くせば、山麓山腹には樹木鬱々として繁茂し、灌漑用水の水源を涵養するに至らん。

次は果實販賣會社の經營となす、朝鮮の苹果は近來處々に栽培せらるゝに至りたるも其の樹數未だ四百萬本に上らず、米國の如きは現に二億本に達し、果樹園に鐵道の引入線を敷設せる程なりと云へば朝鮮の果樹は猶前途ありと謂ふべし、然れども今日に於てすら、既に其賣先に窮するを奈何せんや、是決して憂ふるに足らず、要するに唯販路の開拓に努めざるに坐するのみ、依つて今果實販賣會社を組織し、先づ苹果を滿洲に賣り出すべし、滿洲に於る苹果は山東省より供給するも、其の苹果は十月限りにして、其以後は貯藏に堪へざるなり、次に西伯利に賣り出すべし、西伯利の各都市に於る苹果の需要は實に莫大と稱す、歐洲大戰爭前余は露都ピーターースブルグに就き調査する所ありしに、朝鮮より苹果を輸送するに一個の輸送賃金日貨の二十三錢五厘に當り露都にては一個の小賣値段日貨の二十五錢なりしと謂へば、其間一錢五厘の利益ありしなり、露都の遠きに於てすら猶ほ朝鮮の苹果を販賣して、優に其の高加索の苹果と競爭し得る見込ありと謂へば、是より近き西伯利の各都市に於ては何ぞ苹果の販賣せられざる理あらんや、今や我軍西伯利の過激派を掃蕩したれば、必ずや日本貨物の人氣を博し、苹果の賣行盛んなるものあらん、次は之を上海、香港、新嘉坡等に販賣すべし、新嘉坡は美味なる南洋の果實に富むも、其の住民の最も好む果實は、南洋に産せざる苹果と爲す、且つ新嘉坡にては滿洲の苹果盡くる時は日本の苹果之に代り、日本の苹果盡くる頃は、濠洲の苹果之に代るを常とすれば、其の時季に於ては是亦必ず賣行の盛んなるものあらん、されば此の滿洲、西伯利、上海、香港、新嘉坡等に向つて、會社の力を以て、貯藏に適する國光種等の販賣を試みて可なり、若し是にて成功するを得んか、畑地の收利又倍徙するに至らん。

最後は東拓會社の水力電氣事業の經營とす、朝鮮には水力電氣の水源地少く總督府の調査に據れば三十幾箇所の發電所より得らるべき、電力の總計三萬餘馬力に過ぎず、然れども猶ほ能く精査すれば、好個の水源地なきにあらず、假へば江原道淮陽郡に於いて、漢江の上流なる化川の水流を、日本海の方面に向ひ、通川郡に切つて落し、是にて二萬馬力の水電を得るの計畫にて、既に其筋の許可を得たるも、如何にせん鐵管の價騰貴し且つ之を製鐵事業に利用せんとするも、鐵鑛の産額不精確なるより、今以て其儘に放棄しあり、然るに今化川の水を通川郡に落すのみにても、同郡一千五百町歩の水田に灌漑し、五百町歩の荒蕪地を水田に化するを得べし、又平安南道の順川郡に於ては、大同江の水を黄海の方面に切つて落せば、七千馬力の水電を得べく、是亦其筋の内許可を得たりと聞けど、今以て其儘に打棄てありて、格別水電起業の模様も見えざるもの、如し、然るに其の大同江の水を切つて落したるのみにて、同道西北地方沿海の乾田一千町歩を水田に化せしむるを得べしと、思ふに水電事業を起すべからざる時期に、強て之を起さしむる必要なきも、其水を利用し灌漑の用に供せしむるは、強ち不可にあらず、依て前に述べたる如く宜しく東拓會社に命じ、其の水流丈は之を疏通し、水利組合を作つて、灌漑用に供せしめ、倍々愈、水力電氣事業を起すの時期に到來すれば、其の發企人に水流疏通の費用を東拓會社に支拂はしめて水電事業を經營せしむべし、今新に三千町歩の水田を得ると謂ふは國家經濟上の利益決して尠少にあらざるなり。以上述べたる諸種の新事業なるものは、政府の獎勵誘導なければ決して發企せらるべきにあらず、知らず農商工部は此の事業の有利なるを認め乍ら、之を此儘に放棄して其の成行に任せつゝあるか、斯くては政府はあつてあり甲斐なきにあらずや。

◇小春

石田富造筆

邂逅

佐々木峯雪

十四

虐待（十四）

惣兵衛は元の座に返つて、殘り少になつた酒を呷つた。『庄坊、酒が了へた、もう少し買つて來てくれ』惣兵衛は庄吉の前へ空壜を投げた、『お酒を……』庄吉は思はず呆れた。

『いやなら措け、乃公が行くわ、さ財布出せ〳〵』云ひながら進み寄つて、庄吉が大切に頸に掛けた縮の財布をすう〳〵と摑み出し、洋燈の側へ居座繰り寄つて、ぢやら〳〵と床の上へ金を出した。銅貨、白銅貨がごろ〳〵と其邊に圓を描いて重なり合ふ、惣兵衛は其處に一枚の皺だらけの二十錢紙幣のあるのに氣附くと『ほゝう、いくらあるんだい』と呟いて、轉けて居るいくつかの貨幣を集めて、庇光のする目で勘定して『おい庄坊晩の資金は四十五錢だやな』『はい、それで三把一錢で買つて三把二錢に賣りました』『ぢや倍になつて九十錢ぢやな』と益々笑顔になつて『それで何かい酒が二合で十二錢、鯖の切目は何程ぢやい』『鯖の切目六錢です』『六錢、ぢやそれに酒の十二錢、さうすると十八錢ぢやな』『はい』『待てよ……』と惣兵衛は聲を細めて『九十錢から十八錢取ると、七十二錢ぢや、それに異しいぞ』と又も勘定を爲返し、財布も叩く噂に振るつた、『はてな』と首を捻つて『此處には六十九錢五厘しきや無い、變ぢやな』と罵ると庄吉の素振に目を注けた。

庄吉ははつと思つた、今迄持つて居た攫手の事を思ひ出して、叔父の顔を盜むやうに見て居ると、叔父の眼にぴかりと光る鋭い惣兵衛の眼が、庄吉の正面から睨めて居る、『あ、何う爲よう』庄吉の胸は波立つた『寧と落したと云はう』庄吉は自然と身を縮めた、『庄坊』と劍のある聲で『わりゃ四十五錢が倍になつたと云ふぢや無いか、それぢやつたら九十錢、それから酒と鯖の十八錢除いて七十二錢ぢや無いかい、それに此處にや六十九錢五厘しきや無い、一錢これ何う爲たんだい』惣兵衛は片膝立て、庄吉に迫つた『あの五厘は燐寸を買つたんです』『なに落した、馬鹿吐け、甘く云つて內證で買喰でもしやがつたんだろ』『いゝえ』と庄吉は慄ひ聲で『そんなこと……』『ふゝん、そんなこと云つたつて乃公にやちやんと嗅がするんだ、さうぢや、ぢや買喰したのぢやらう』『いゝ、僕、お金落したんです』『落した、お金落すやうな間拔けでさうすか、早く拾つて來い』『でも何處で落したか分りません』『馬鹿、知れん筈があるかい、わりゃ手前の歩いた道を知ら無いかい、さ、愚圖〳〵云は無いでさつさと探しに行きやがれい』惣兵衛の筋張つた手は庄吉の頭筋あたりに斷れかゝつた。『けど叔父さん、もう餘程間がありますもの……』『間があるから何うしたつて云ふんだい、さ、早う探して來い、勿體無い』『でも叔父さん……』と涙の目で視上げる。『でもた何だい、行きやがらねえと叩き飛ばすぞ』『はい行きます、行きます……』庄吉は泣く〳〵表へ出た。『あ、惡いことを爲た……』熱い涙がほつり〳〵と落ちた、表は今しがたから降り出して、見りやうな大粒の雨が獰猛く突くやうに降つて居た。

中秋分韻得尤　安東　篆雲
戰雲齊斂古中秋、明月海光滿海州。砧杵聲寒鴻影夕、征衣露濕不堪愁。
學鷗曰、清絹

中秋分韻得灰　鰕生　芙蓉
蕭秀桂香座上催。長天一碧絶塵埃。秋宵不讓春宵好。露璞吟杉月落杯。
學鷗曰、即興之作亦有逸趣。

中秋分韻得支　大垣　金陵
世事蹉跎使我悲。浮雲捲曳祭歸思。三年來復賤良夜。夜賦中秋無月詩。
學鷗曰、無限感慨、借月而出、世…

大日本國民中學會

新學期開講 各種大特典提供 今や入會の最好機なり 逝に來りて入會せよ 一日遲るれば一日の悔あらん

理想的の三段式教授法に就て學べ

會長 尾崎行雄

創立拾有六年・會友無慮百六拾萬人

講義錄見本につき申込次第無代進呈 會則

東京神田錦町 大日本國民中學會 電話本局三…・二〇〇三 振替…

公正不羈の論議精緻正確の經濟記事芳烈絢爛の社會記事觀察犀利なる人物評論趣味と實益の無盡藏

朝鮮公論

創刊五周年紀念辭

平民政治の東天紅

大日本主義の使命（細亞民族の要素と露支問題及亞）

本誌の本領 ▲吾が國憲制布かれて爰に三十年國民を基礎とする政黨内閣の顯現を見るに至る此秋に際し我輩年來の主義たる興論政治を徹底的に主張し且つ助長せざる可からず▲世界の變局に遭遇し時局の艱難曠古無比の秋に際し國家百年の運命を開拓せんことを期せざる可からず

亞細亞主義の精髓　▲東京哈爾賓概論
露國の過現未の使命　▲余の所謂レニン一派
對支政策の根本義　▲民族主義の形勢
大陸雄飛の大要鍵　▲朝鮮の鐵道政策
我殖民政策の要訣
國民生活の安定と不徹底なる干渉政策
△仁川まで……　△花一輪……　△仙臺の秋……
國民生活の解決問題……▲干渉政と威嚇政治 高橋義雄
國民生活の安定……野田遞相
擧國一致同盟會創設論……上杉愼吾
列國に於ける内國殖民の成績……二宮德
物價調節の根本政策を論ず　社說
あくびの後……□朝鮮の金産額減少……
朝鮮より樺太まで　牧山玄濤
△戰後經營の根本義……佐伯主計中監
△内地人朝鮮移住狀況……一記者　△中央諸名士曰く集
宇都宮太郎論　有馬易水
▲花柳病の話……瀬戸醫學士　▲共通法規逐條說　▲三島頭取の俳句　▲在滿州銀行一覽表
内地及植民地貿易情勢
支那の金融と正金銀行
かなかな蟬　▲讀者の聲　藝妓番附
▲朝鮮と勞働問題……▲女を國有にする露國の新條例……▲川崎造船所の發展……
▲朝鮮の國勢調査……　▲殖銀の成立と其顔觸 一記者
滿洲を一巡して　石森生
暉春色街の女　▲暗い影
滿洲游記（牧山玄濤）　▲京管局に一本參る……探勝一客
本誌の特色　▲京城花柳當座帳……（ひろし）▲淸華亭を引受くるまで（花柳子）
△本號に限り特價四拾五錢▽　朝鮮公論社

時計 眼鏡 貴金屬 製作 賣 仁川本町 …商店

朝鮮總督府編纂
朝鮮大地圖
八十萬分ノ一縮圖 縱四尺五寸橫三尺五寸
▲折圖定價三圓五十錢 ▲折圖送料十二錢 ▲軸裝定價…
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色とする處は道路鐵道の既成未成に別ちて最も詳細を極めたり、又諸官廳所在地の正確なるは其特色とす。
發賣元 京城大平町 振替三〇〇番 京城日報社代理部

◇大庭師團長宣言

大庭第三師團長は十八日間に疑惑を起さしめんがため特に三日日本軍隊の進撃に關し宣言書を發表せり又これと同時に軍票發行の宣言を發表せり（浦鹽電報）

◇露將の宣言濫發

殊にガイダの發せる宣言に次いでカドレツ大佐の宣言あり是に對するプレシコフ大將並に當地司令官の宣言相踵で至る等東清鐵道沿線の内外には之より宣言攻に辺ひ今や寧ろ冷笑的態度を以て之に臨みつゝある有様なり之等宣言は全く權威効力なく一般に認められざるに至れり（北京電報）

◇日本商人齊多行

日本の大小商人は對露貿易振興の目的を以て市場を設置するの可否を調査するため日々齊多に入込みつゝあり（浦鹽電報）

◇空中襲撃に狼狽

ライン流域に於ける恐慌は益増加し屢々空中襲撃行はれコブレンスは殆ど全部破壞され フランクフルトは大損害を蒙れりフランクフルト市は聯合側にして若し空中襲撃を中止するの望あらば市民も亦地中海に於る潜航艇戰を斷念せん事を其筋に請願すべしと（巴里電報）

◇ソフイヤの大赦

アムステルダム來電＝勃國ソフイヤに於て戰爭開始以來投獄せられ居たる政黨領袖スタンブロフ及びブチジエフ其他の同志に對し大赦行はれたり（倫敦電報）

◇宮尾民政長官

宮尾民政長官は山本事務官及び[illegible]屬を隨へ七日哈爾賓丸にて東上の途に就けり（大連特電）

◇兩博士消息

荻野、田中兩博士は七日旅順著八日大連に於て講演會開催の筈也（大連特電）

○工業動員法と管理問題

▲工業動員　政府は軍需工業動員法に依り戰時に際し軍需品の生産又は修理の爲め必要なる時には兵役にあるものを徴兵令に拘らず又兵役にあらざるものをも召集を爲し其業務に從事せしむるを得る規定なるが政府が戰時に際して軍需品の生産又は修理に從事せしむべき勞働者の召集を遲滯なく遂行せんとするには平時より政府自ら是れ等の勞働者を管理し勞働者を召集することを恰も兵役にあるものを召集するが如くならしむる必要あり勞働者の管理に付いては我陸海軍當局に於ても豫て相當調査中なりしが工業動員法の實施と同時に此問題を軍需の調査に移したるが管理の方法に付

▲陸海當局　の意嚮は軍需品の生産並は修理に從事すべき勞働者は勞働籍に登錄し軍隊に於ける軍隊手帳の如きものを交付して陸海軍の勞働籍にある者なることを證明し勞働者の任意移動を防止する方法としては年功加俸若くは生活を保障するの制度を設け又任意移動の場合には現在の制裁規程を勵行するの方針を執り移動は凡て政府に於て管理することゝ爲し更に進んでは帝國の勞働供給局の如く職工及び職工の紛議に干渉し同盟罷業の防遏、職工組合の勞働仲介、職工教育の事項をも管掌すべしといふにあり

▲工業能力　時局の影響を受け民間工業の發展に伴ない一般に勞働者不足し就中海軍工廠の如きは造船事業勃興の爲め勞働者の民間造船所に走るもの多き結果として造艦能力の上にも甚しき影響を受け居れり勿論各工廠とも多數の勞働者は之を維持しつゝあるも優秀なる技術を有するものは民間造船所に高給を以て傭はれ工廠には經驗淺き職工を殘す結果となり勞働者の數に於ては移動なきも工業能力上には重大なる關係を及ぼしつゝあり勞働者の爭議行はざるの契約あるも此の契約完全に履行されざる現狀にあり勞働能力の増進を計る上に於ても勞働者の任意移動を防止すべき必要あり其手段として政府自ら勞働者を管理することが頗る當を得たるものとせられ居れり然も此問題は關係する範圍大なれば成案を得る迄には尚ほ相當の時日を要すべしといふ（東京）

○全國金利調査

大藏省の調査に係る本年三月中に於ける全國金利は證書貸付金年利最高一割四厘最低七分二厘平均八分四厘手形貸付金利率百圓に付き最高二錢六厘最低一錢八厘三毛平均二錢一厘當座預金貸越利率百圓に付最高二錢八厘最低二錢平均二錢三厘五毛にして預金利息は定期預金年利最高五分七厘最低四分八厘平均五分二厘當座預金百圓に付日歩九厘七毛最低六厘七毛平均七分七厘特別當座預金最高百圓に付き日歩四厘三毛最低三厘四毛平均三厘七毛普通貯金年利最高五分一厘最低四分七厘平均四分七厘なり（東京來局）

▲貸付金利息　證書貸付金（年利、手形割引金、百圓に付日步）

	最高	最低	平均	最高	最低	平均
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仙臺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲預金利息　定期預金（年利、當座預金（百圓に付日步）

	最高	最低	平均	最高	最低	平均
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金澤	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仙臺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○總督府學事視察團編成　來る廿三日出發

總督府に於ては今回滿洲及び支那方面に學事視察團を派し朝鮮教育の參考に資する事となり一行の顔觸も成り終り十月二十三日午前九時五十分南大門驛發列車にて出發十一月十一日奉天着同十三日仁川に歸着の豫定にて往復三週間の豫定なり一行は團長總督府編輯課長小田省吾氏以下二十七名にて之を五部に分ち第一部は行政、第二部は實業及び高等教育、第三部は支那人教育、第四部は内地人教育、第五部は鮮人教育を視察する事とせり團員及び其部署左の如し

▲團長　總督府學務局編輯課長小田省吾 ▲幹事　道視學阿部千藏 ▲同　道視學伊藤英一 ▲同　新五郎 ▲同　永田市藏 ▲同　伊藤英一 ▲同　知識芳之助

▼第一部（行政）（主任　小田省吾、阿部千藏、伊藤英一▲、道視學沼立野新五郎、永田市藏）

▼第二部（實業及高等教育）（主任）京城普通學校教諭大森喜半、平壤公立農學校長高山徹、仁川公立商業學校長樋口虎三郎、馬山貢科高等女學校長行德峰受

▼第三部（支那人教育）（主任）釜山普通學校長山上峰次、忠州普通學校長前田牧次、京城普通學校長土本由之

▼第四部（内地人教育）（主任）仁川尋常高等小學校長中島打次郎、平壤尋常小學校長川添七太郎、公州尋常高等小學校長高田誠二、春川尋常高等小學校長若松米藏、義州尋常小學校長樋口榮藏

▼第五部（朝鮮人教育）（主任）開城普通學校長市川庄五郎、羅州普通學校長黒崎卯吉、私立普成學校教諭小松崎金次

視察豫定場所左の如し

▲安東縣　小學校、普通學校其他 ▲奉天　小學校、實業補習學校、南滿中學堂、醫科女學校、師範學堂、國民學校、高等小學校、教會學校其他 ▲長春　小學校、公學堂、女子師範學堂、教會學校其他 ▲遼陽　小學校、幼兒運動場、實科補習學校、公學堂、日語學堂、實科女學校、醫學堂、南金書院 ▲大連、旅順　小學校、公學堂、高等學校、中學校、高等女學校、工業學校、工科學堂、高等學堂、日語學堂、旅順學堂、私立學校其他

○京城最近物價昂騰と勞銀

最近京城商業會議所の調査に係る京城に於ける物價と勞銀の狀況を聞くに歐洲の動亂は我經濟界殊に諸物價に異常の變化を與へつゝあり其原因種々ありと雖も要するに之を次の諸點に歸着せしむる事を得べし乃ち歐洲先進諸國に於ける

▲生産の休止　需要の増加、東南洋方面に於る歐洲諸國の占めたる商權の獲得戰時保險料の騰貴其他人爲的商略等其主なるものなりとす試みに最近大正三年五年七年の三箇年間に於ける京城の物價平均指數を表示すれば左の如し

價格	大正三年七月	大正五年七月	大正七年七月
生産品（十八品目十六種）	三、〇〇	三六、〇	三五、四
輸移入品（十六種四十三種）	三、〇〇	[illegible]	[illegible]
總平均指數（三十四品六十九種）	二〇〇	[illegible]	[illegible]

の傾向を生じたるは之れ亦注目の價値あらん勞働者の如きは罷工の手段に依り幾分生活の保證を得たりとするも中流以下の俸給に衣食する者は生活の脅迫を受くるの…るゝの際に歐洲戰爭の利益に浴したる一部の事業家を除きたる俸給生活者は生活の脅迫之を…

而して右表に示す如く京城の大正三年七月に於ける物價は大正三年七月に比し

▲十割五分五厘を増加したるに拘らず同勞銀は約三割七厘の増加を示し又東京に在りては同期間內に於て物價七割二分勞銀三割二分を大阪に於ては同物價八割一分勞銀（最近の統計を得ず割合の記載を止む）を而して大連に在りては物價（大正四年七月と同七年七月との割合）十六割三分勞銀四割九分の増加を見たり以て物價と勞銀の距離益遠ざからんとしつゝある情況を知るを得ん然れども是は六月乃至七月に於る狀態のみ最近八、九月に入りては更に此より甚だしきものあり斯して我

▲中產階級以下　のものをして益生活を困難に導きつゝあり現に物價の騰貴殊に米價の暴騰に依る生活の困難は勞働者をして遂に續々として最後の手段に訴へしむるに至れり生活せんが爲めには物價を引下るか收入を増加するか其何れかを講ぜざるべからず即ち這間の事情は延いて同盟罷工等の不詳事を誘起するに至りしものなるも言を俟たず而して此等同盟罷工が齎らせる効果を見るに賃金の増加請求額は最低一割五分最高五割或ひは十三割に達し其給料請求の大なるに拘らず

▲各其經營者が　多くは之を容れ又は容れんとする傾向あるは注目に價すべし而して昔時に於ける罷工が其の原因を感情の衝突に發したるに反し近時に於ける罷工は賃金値上利益の分配（經濟…）

▲勞働者に比較　すれば非常の需要の切なるものなくんば非ず然も此等俸給衣食者は同盟罷工等の如き行爲に出づる能はず唯自ら生活費を節約するの一方法あるのみ物價と收入とを比較するに際し叙述岐路に亘れるも薄給者の努力今日より見だしきは無かる

○京城銀行帳尻

京城組合銀行に於ける九月末の帳尻を聞くに左の如し

▲預金

定期預金	八、七四〇、五七一
當座預金	八、八七〇、九〇四
特別當座	五、九〇一、八三五
諸預金	二、一八六、一〇四
合計	四四、六九九、四七四

▲貸出

證書貸	二〇、八五三、二二四
當座貸越	三、三〇七、一九一
割引手形	二三、三六九、一七四
荷爲替手形	二〇六、七〇九
合計	四六、七三六、二九八

にして之れを前月末に比すれば預金に於て六十一萬餘圓を減じ貸出亦三萬餘圓を減ぜり

○鹽田設置計畫

東京旭硝子株式會社は歐洲戰後硝子製造用苛性曹達灰原料を支那山東鹽に仰ぎつゝありしが事業の發展と共に同會社は朝鮮に於て鹽田を直營し約三十萬坪の鹽田の計畫を立て度しと部長官に照願し化學工業用大日本鹽業許可の內諾を得て平安北道定州郡海岸に鹽田候補地約二百町歩を測定し黃海道[illegible]郡內に於ても總督府保留地以外に約六百町歩を得んと藤田同會社支配人外四名來都し目下馬山灣及び東南面測海岸一帶を候補地として實測中なるが慶尚南道地方に於ても約二百町歩の候補地を選定する筈なりと

○鮮銀慶北出品

朝鮮銀行にては大邱の慶北共進會に對し朝鮮の新舊通貨支店出張所の配列圖解等を出品する事と爲りたる由

○警務總長訓示

去る三日より憲兵隊司令部に於て開催中…

○縣長醫官招宴

兒島警務總長は七日午後七時より朝鮮ホテルに晩餐會を催し憲兵隊附醫官の會議に列席の諸醫官を招待せり

○金谷府尹招宴

京城會も一段落を告げしより金谷府尹は七日午後六時半より京城ホテルに臨澤警務部長以下京畿道民隊署長及び同評議員を招待し慰勞の宴を張れり

○皮革會社の記者招待

永登浦の鮮皮革會社にては牛毛毛織物の披露をなすため七日京城新聞通信雜誌記者の一部を參觀のため會社に招待したり

○三重縣教育視察團

三重縣教育視察團一行四名は七日午前九時四十分京城着安東小學校の教育品展覧會を視察し同夜八時四十分發列車にて北行せり（安東電報）

人事消息

▲滿鐵遠藤科職員五十三名七日退京 ▲萩原正文氏（支那支配人、福岡）同上 ▲原識三郎氏（朝鮮製紙專務）同上 ▲矢野捨吉氏（第一銀行三菱製鐵社員）七日久保入京大邱へ ▲久野次郎太郎氏（東洋滿大鐵公司社員）同上 ▲吉田貞二郎氏（鈴木商店員）同上 ▲今村次吉氏（大藏省財務官）同上

◇鳥瞰雜俎

▲學士連中の酒論は頗る振つたものである▲我輩は昔は酒を飲んで元氣に溢れてあつたが禁酒してからは元氣なく國家が衰へて滅亡するのである▲印度や土耳古やマホメツト教國が共通例だと酒飲主義は大嫌ひだらう▲博士もイヤで御座るは大學助教授もイヤで御座ると破した喧嘩大學の鍛り者▲前鍋學士の物理學宗へ一日來て分けの若殿が自動車を寄附けにした▲而して降ると撫へて一寸先生の御診を受けたいが如何と申込んだ▲小使はハツと許りに名刺を頂戴して折柄診察中の學士に此旨を傳へた▲すると學士は『オイ君診てやり給へ』と許りの助手に云つて自分は知らぬ顔▲小使が恐る〳〵『是非先生に診て頂きたいとの仰せで』と云ふや▲學士の顔色は見る〳〵變つて持前の吃聲凄じく▲『オオ俺は醫者ではない』カカ金持やは大嫌ひだ』と唯一喝▲寺崎藥君の令息が不幸であつた時香奠が集まるはく何處から斯う來たか知らぬが數千金にも達したので廣業君も自分ながら呆れて居た▲處が好く〳〵考へて見ると乃家の香奠返しは必ず自筆の畫を配ると云ふが古來からの習慣となつて居る▲其處で吾も〳〵と廣業君の畫が貰ひたさに香奠を持参に及んだ▲中には一家で親子兄弟居候の書生の分まで別々に封じて一枚でも澤山畫を貪らうとして居る人もあつた▲流石の廣業君も之れには今更開いた口が塞がらなかつた相な

○我國民活動の能率を增進せしむる方法（三）　嘉納氏の講演

大變に良い氣持

私が一寸ぼんやりして居た爲め日本で一様に英吉利と呼ぶ習慣に因はれて何氣無くイングランドと云つたものだから相手の人は忽ち變な顔をした。お前は實に怪しからぬグレート、ブリテンと云へば宜いに何イングランドなど云ふ言葉は蘇格蘭人のひどく忌む處だ、自分はお前と今迄話をして大變に良い氣持になつて居た、だから當かお前が我蘇格蘭を侮辱しようなんてそんな惡い考へを持つて居ないことは十分知れて居るから構はないし他の人と咎めはしないだらうけれど將來は氣を附けて見れなくては困るよ、と注意せられた。其處じ大いに恐縮した次第であるが蘇格蘭人は自分が英吉利の人民だとは思つて居ない、蘇格蘭が英吉利の一部分だとは決して考へて居ない様であつた。愛蘭も其通りで新聞にも時々ゴタ〳〵の起つたことを報じられる位であるが、それでもいざ戰爭、獨逸と戰はなくてはならぬと云ふことになると何うなり斯うなり一致してやつて居る此處の關係は餘程考へて見る價値があると思ふのである、併しながら何時でも

人種的の反感は

國家的競爭の爲に打消されるものとは限らない是は人類の本性として到底免れざる必然の成行であつて、スラヴニツク人種とゼルマン人種、ゼルマン人種とラテン人種それ等の間には何かに付けて問題が起り軋轢を生ずるのである、歐洲の大戰は謂はゞゼルマン民族とスラヴニツク民族との嫉視反目から始まつた様なものである。又現在の大戰亂のも一つ前に巴爾幹に起つた戰爭丁度彼の巴爾幹のゴタ〳〵の初まりかけの頃、私は土耳古に居つて、是れから勃牙利に出掛けようとする突然兵隊の爲めに遮られて大迷惑をつたことがある。其時の土耳古の有樣を私は親しく見たのであるが此戰爭は或人種が土耳古の統治の下に立つことを好まぬ、即ち矢張り

一種の軋轢から

起つたのであつた、さうかと思ふと又一面から考へると現在の歐洲大戰亂に英吉利が頭を出して懸命に獨逸を叩きつけようとして居るのは、是は人種の關係を以て解決することは出來ない。表向の理由は獨逸が白耳義の中立を犯したと云ふのであるが、罷にそれ丈けの事實の爲めに英吉利が國運を賭して戰爭をするものとは考へられない。近來獨逸の勢力がぐん〳〵世界中に擴がつて英吉利の商工業が壓倒せられんとする勢ひを呈して來た。是れは何うしても今の内に獨逸の勢力を喰止めなくては自國の將來が甚だ寒心に堪へぬと云ふ心配が常に英國人の念頭を離れなかつた、それが曾て巴爾幹の一事件に續いて獨逸が白耳義の中立を犯したと云ふ理由が出來たので平生の憤懣を一時に爆發さしたのである。其處で人種から云ふと英吉利は佛蘭西よりも寧ろ獨逸の方へズツと近いに拘らず佛蘭西に味方して獨逸に對抗することになつたのである。

○勃國と獨紙

[illegible]

○生絲相場高騰

[illegible]

福岡縣人ニ告グ

本月十二日午後六時ヨリ京城ホテルニ於テ福岡縣教育會主催滿鮮青島視察團歡迎會開催致候條御贊同ノ向ハ來十一日正午迄ニ京城ホテル事務所氣付福岡縣視察團歡迎會係宛御申込被下度候

追テ會費金貳圓五拾錢當日必御持參ノコト

發起者一同

歴史と地理 秋季特別號 植民號

開國と云ふ語に關する知見 文學博士 内田銀藏
歐人の海外發展と傳道 文學士 植村清之助
西班牙植民地の盛衰 文學士 山鹿誠之助
印度に於ける英佛二國の植民 東京高師教授 齋藤斐章
滿洲と蒙古との資料 文學士 田中秀作
植民と地理教育 西田高師教授
植民地と砂糖業 下田文學士
植民字考 長崎高商教授商學士 武藤長藏
樺太の植民 廣島高師教授 中目覺
臺灣の理蕃事業 栗野秀德
北支那旅行記 文學士 遠藤人爽
歸化植物より見たる植民地 平山常太郎
クロンヱウルの植民政策 阿部秀助
航海條令と英國の植民 竹林熊彦
佛國の印度支那占據 京大講師文學士 長壽吉

京都 同口一冊 四拾二錢／歴史地理會 郵税 五錢／史學會編輯 雜誌 十錢 本號

大鐙閣發行 東京大阪 振替 東京三〇二七 大阪一六一五 八一五

實業之日本

小賣商人すべき二問題
新に勃興せる各會社の盛況を評す
余の觀たる樺太
物價騰貴と爲替資金の缺乏
勞働組合の必要
勞働者の時代來る
我工業界新方向の拓者
勞働者待遇法
成金税の筆頭へ銘々調べ
知事井上と市長川尻
誤解論
有熱患者の食養法
骨炭食用療法
南米アマゾン河畔の日本町
西伯利派遣軍撤兵期
西伯利で商賣するには
清酒釀造禁止せよ
大利ある再製銑鐵業

十月一日發行 一冊十八錢 ... 東京京橋 實業之日本社

京城地方監督社員招聘

月俸五拾圓以上及旅費支給希望者は京城本町巴城館内小田主事へ履歴書携帶至急面談アレ

人格ある三十才以上の鮮人通譯一名採用希望者履歴書本人來談

福德生命保險株式會社
社長 川崎芳太郎
主事 小田太喜三郎

日本一

寺閣煩悶史
後繼內閣の使命
國民經濟調查會
政黨何故無力か
後繼內閣斯くあれ
洋服細民
強き教育 強かるべき教育
今の矛盾狀態
成金の反省を促す
原敬論
懸賞當選者發表
模範早起商店發表
早起と奈翁と馬
收入增加の新研究
大阪陣に入る
腐肉團
埋れ井
醫師殺人の例
十月號出來 南北社

朝鮮法規提要

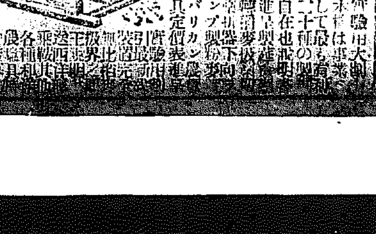
再版
ポケツト形一千餘頁 總クロース函入美本 定價二圓二十錢 送料特價一圓一八錢

朝鮮法制研究會

（內容）
憲法、法例―憲法―法例―公式令
官規―官制―官吏―任用試驗―服務分限―官吏懲戒
賞恤、恩給―賞與―救恤―恩給―遺族扶助料
文書、印鑑
地方行政―公共團體―面―學校組合―水利組合―地方費
社寺、宗教―祭祀―神社―寺院―布教―寺刹
兵事―兵役―服役―徴兵
教育―朝鮮教育令
衛生、警察―醫師―藥品―傳染病―衛生―行政―保安―遺失物―飲食物
財務―國稅徵收―租稅―犯則處分―國有未墾地
土地、林野、河川―土地―收用―調查―林野―河川
法務―裁判所―辯護士―訴訟代理業者―刑事令―監獄令
産業―商業―銀行―會社―農業―漁業―鑛業
交通、電氣―鐵道―軌道―道路―港灣―航行―郵便―電信

賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇〇番

稻麥扱



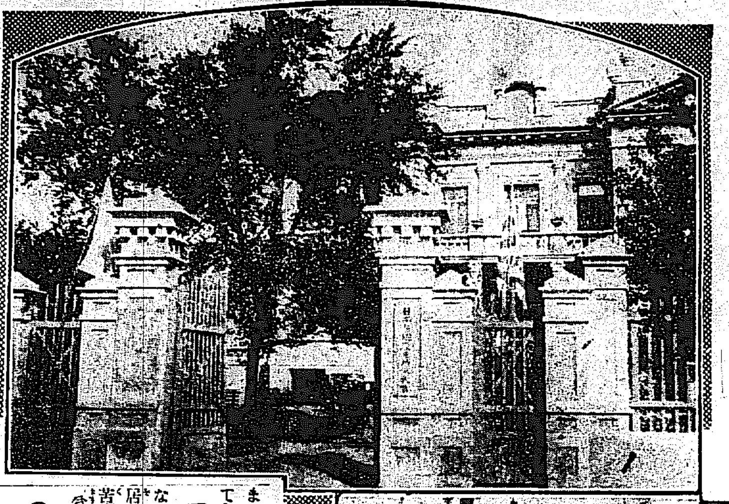
登記公告

[illegible] 地方法院 攻山出張所

…の覺悟なる事を是認し同時に擴張築界旺盛を極むるに到れるに伴ひ東三千八百噸、長春四百噸に次ぎ備中なりと猶目下石灰の價格は百…噸高値に原料不足の聲は人氣を刺戟…先づ出動して甘明方買進み盛…運ばれ活氣ある取引を示し出來高…するここなかるべしと

從軍寫眞畫報

北進軍從軍記者早川磐溪撮影



（一）哈爾賓に於る我第三師團司令部（二）哈爾賓に來れるセミヨノフ大佐と黑木大尉及從軍記者

◎西伯利の我軍は水攻め砂糖攻め

貨車に新聞雜誌を積込んで日本基督慰問隊の活動!!

戰線より歸れる＝齋藤主事談

刻々として寒氣の襲ふ西伯利戰線に立つた君國の爲に正義の鉾を執れる我出征將卒のために日本基督同盟會では出征軍人慰問隊を組織してその勞に酬いて居るが過般戰線に派遣され無事目的を達して七日午前入京、午後七時五十分發にて歸東の途に就きたる同盟會主事文學士齋藤惣一氏は語つて曰く

私は初め八月に戰線を視察しましたウスリー、ハバロフスク等にまだ日本軍が居ない時であります、歐洲の戰場から此方に來た米國の非常數青年會の慰問隊の活動はこの時既に素晴らしいものでありました、それを見て私達は人情なり習慣なりの異なる日本軍は折角

▽熱情を罩め 彼等米人の慰問も充分に受け入れる事は至難な事である是非我軍を主とする慰問隊が作りたいものであると考へまして内地に歸り、江原素六氏を理事長に中嶋局の長尾半平氏外四五の實業家を理事に推薦し、愈九月七日長尾氏と共に下關から御用船に便乗して再び浦鹽へ參りました將來ウスリー、ハバロフスクの戰線に於て活動する事とし

▽先づ貨車を買入れてその中央に卓子を設け用紙も封筒も備へ付けておいて出征勇士の通信に便じ一方には種々なる慰問品や娯樂品を備へ又他の一方には新聞雜誌等を積み込んでおいて陣營のある處へ運轉する事にしたのです、現在は貨車も一臺のみで充分の働きも出來ませんが近く第三師團兵の活動方面にも開設する爲めハルピンを經て歸朝の途に就きました

▽米國の分は隨分大規模なもので現在二十四臺の貨車を有し南滿鐵あたりでは大建築物を借入れて盛んに活動して居ります何分彼方は水が無いので兵士達も非常に困つて居ります飲料にするものでも紅茶を少し濃くしたやうな色をして居りますが是は健康上にも

▽却々害があるやうです、砂糖なども少しもありません、ので兵士はすべて鹽とエキス醤油ばかりで煮た、實に不味いものを食つて居ります、全戰線共貨は一本宛しか買はれません林檎のやうな果物になると一個が邦貨の一圓もするのですから吃驚します、寒氣は日々に襲つてきますが毛布さはごんな大商店にも一枚もありません、シャツなども品切れなので今頃は

▽洗濯屋で主の不明になつた物が高い値段で賣買されて居ります、私達は出征勇士のこの苦痛を出來得る限り輕減すべく益々努力し度いと思ひます

◎御慰問使 中田侍從武官 北滿へ向ふ

出征軍御慰問使中田侍從武官は六日午後旅順溶遼陽奉天を經て北方へ向へり（大連特電）

◎暗殺された湯氏遺骸 朝鮮通過か

故湯化龍氏の遺骸受取の爲め來朝中の林長民氏は七日午前九時三十八分下關着當日臼畑に向ひ安川邸を訪問し同夜引返して下關山陽ホテルに投じ八日關釜連絡船にて朝鮮經由歸國の筈なりと（門司特電）

◎間島では米が石十四圓 鮮人は三十萬

待たれる吉會鐵道

近來間島を視察して歸來せる某實業家の談によれば間島は近來非常な發展で吾々支那人だけでも三四千道入り込み主として穀物商を營んでゐますが朝鮮人と來たら大した人數で三十萬を遙に越ねてゐます之は同地方が農業に適し

◇穀物の生産が多いから指農業に從事してゐます間島から出る穀物は年百卅萬噸で素破らしい額になります大豆小麥、米、高粱、色豆みな此地方の特産物で

◇大豆は一石六圓で取引されてゐます、米國に輸出する色見も一石十八圓で大は蔽くほご安く買はれます雖然困ることは交通の便がなく馬車を使用し運送してゐますのでこの運賃に餘計な金が嵩かります、古く吉會鐵道が開通したらと思ひますがこの鐵道が開通したら間島はごれだけ富を增すか知れません

◇米價も至つて安く今日の相場は一石十四圓で澤山にあります色は少々黒いが味は支那米よりズットよく南京米のやうな臭味もありませぬだから甘く食べられます京城など米に困つてゐるなら間島米を入れたら何うだらうと思ひます、天寶山

◇鑛山はもう堀出しに着手し目下五百名の坑夫が切々と掘つてゐますがこの山は將來立派なものになりませう、間島鈴木總領事は日支間の提携に非常に盡力し至つて評判のい、人です

◎舞戻つた獨探公使 東京に入る

曩に獨探の嫌疑を受けたる瑞典公使ワーレンベルグ氏は五日午後八時半東京驛に著せるが彼は西伯利經由歸國の途に就きしも獨探行爲のため逆還されたる者也（東京特電）

◎一層遲延＝大阪の電報

中央電信局の同盟罷業が事實なら京城局は大打擊

＝服部局長談＝

大阪中央電信局技術員の同盟罷業の報に關し服部京城郵便局長の談に曰く大阪中央電信局技術員の同盟罷業が果して事實とすれば京城大阪間電信授受上大なる

◇障碍を來す譯である京城大阪間の電信授受は從來通信後受信迄二日に亘る事すらあり爲に中には三日に亘る事往々にして當局にては特に一層の配意と努力を以て鋭意速達に努めつゝあつたが是迄夜間當局より大阪へ發信する際に受信者が之に

◇應じぬ事が屢々あつた當局では大いに當惑して居たが右は從業員の夜間缺勤より生ずるものであつた元來大阪中央電信局の從業員の定員は約七百名であるが缺勤者が常に平均百名からあるので授受信能率上に非常なる缺陷を感じて居た自分は同局從業員の夜間缺勤より見て早晩從業員間に

◇大問題を惹起するであらうと私かに憂慮して居たのであるが若し罷業が事實とすれば夫は蓋し自然湧起の問題であらう尤も現在に於ては京城大阪間の通信は依然平日の狀態で別に故障を感じて居らぬが罷業が愈事實とすれば當然重大なる障碍を來す可く

◇大に憂慮して居る電信は時局の關係と經濟界の發展より益々繁劇の度を增すのみであるが之に反して從業員の能率は益々低下し行く狀態である是は當局の從業員は生活問題より比較的優良なる從業員は他に轉職し新に補充した技術員は未熟ある亡に殘つた從業員は

◇拙劣な者ばかりと云ふ關係から電信の輻輳と相俟つて益々遲延の度を增すばかり最も重大な電信業務上實に重大なる問題と言はねばならぬ

◎逃亡水兵の母賞を受く

伜の行方を尋ね自首させた廉に依り

金澤出身舞鶴海軍一等水兵吉田伸は軍艦日進乘組中昨年一月逃亡行方を晦したるが同人の實母松子は殘念に思ひ娘と共に亡き父の遺志を繼ぎ全國に亘り草履穿きにて寢食を忘れ行方搜索中一箇年を經たる本年四月に至り漸く大阪に於て同人を發見し軍法會議に自首せしめたるが今回舞鶴鎭守府司令長官は伸の罪は遺憾なるも松子の行爲は感ずるに餘りありと即時金百圓を贈與したりと

◎又復白米上る

▼七日から一升四十錢

京城の小賣白米は五日五厘方値上し三十九錢五厘となりたるが七日更に五厘の値上を行ひ四十錢恰度と稱ふに至れり

從軍行

▽長春市中に落ちた金

非道い火事騷ぎ 露探の中心市場

從軍記者 磐溪生

今こそ市中は海嘯の引いた跡のやうに靜かになつたが、一時は蟻も這へぬ程混雜したものだつたさうな思ひ掛けない〇〇〇〇名からの軍隊の滯留で、民家は悉く所まで占領され、物價は暴騰する、物資は缺乏する、其のごさくさ紛れに、例の火事泥的な商人が跋扈して如何に怪しげな物を賣りつけた、ほり、盛んに落ちた金は莫大な額なので、景氣は頗る宜い、東淸鐵道の從業員だつて罷業騷ぎをしたまでは宜いが、ホルワットに脅しつけられ、其の首魁は西伯利に追放され、結局虻蜂取らずに了つた反面に、又軍隊輸送に一蹉跌を來たした、更に又一日

◇三貨車位の運轉に依つて辛うじて一般貨物を哈爾賓方面に輸送しつゝある反面に、軍隊の滯留して居る土地には思ひ掛けない、金が落ちたなんて、他人の不幸が幸びこなつてみんな懐にがりこんだやうに思はれるが、心ある土地の人々は夫を喜ぶ處か、其帝國の一大不祥事として居る、其譯は前記の通り、日本人も

◇島の中から飛び出して、他國との折衝地帶に出て來ると、氣が大きくなれば、國家的觀念も強くなり、我利〳〵儲け乍らも、愛國の志しが強盛となるから心強い最近長春で注目すべきは留は市場の勢力が漸次擴大されつゝある事だそうな、消息通の話に依ると、露國の外國貿易が禁止された結果

◇奥地方面から現物を持つて、經濟機關の完備した長春に盛んに出て來る、市場としての勢力が大なれば自然露貨の高低を左右する、長春では最早露貨の中心市場は長春だと稱せられつゝある（長春にて）

◇日本基督同盟慰問使齋藤惣一氏（記事參照）

蘭屋殺入場劵

蘭屋殺しは朝鮮に於ける稀有の事件として人の噂に上りしが愈犯人都野川義雄大阪にて就縛護送せらるゝと聞き物見高き京龍市民は犯人を見んが爲め到着すべしと云ふ三日より道路の要所に立つ者夥しかりしが亦好奇心に驅られ當時南大門驛入場するもの多からず從つて入場券賣高は七八百枚なるを犯人到着すべしと云ふ三日は此の種の入場者多かりし故賣高千百五十枚に達したるが此日は來らず尚到着日確定せざるに依り四日は平常の如く七百六十八枚なりしも愈五日には到着と知れたるを以て同日は一千二百六十五枚の入場券賣上高を示せり

◎獻穀修祓式

全南の高力農場

今年新嘗祭御の獻穀の大命を拜したる全南羅州高力農場にてはこの程獻穀の調製をなしたるが粒揃ひ乾燥共に申分なく合計二斗五升の中より一升を選び七日獻納者宅にて修祓式を擧行し官祇來賓を招き祝宴を開催せり（光州特電）

◎嬉しき恤兵美談

朝鮮の獻金者

＝陸軍當局者談＝

西伯利の野に出動せる我幾多の軍人は雨に臥し風に起き艱難を辛めて揮に代へつゝ奮闘を續けた功は漸く一段落はついたものゝ猶彼の地を後にして懐しき父母の國土を踏む迄は遙に

☆長い日を要するであらう此の出征軍人に對して陸軍大臣官房に於ては去る八月二十一日より恤兵事務を開始した處同胞の熱情は或ひは金となり或ひは物品となつて現はれ九月末日迄に寄贈者百五十餘名に達し現金が八千五百五十一圓用慰物品即ち

☆慰問袋が二萬三千三百二十二個も集まつた其他にも若干の物品はあるがさて今度の派遣軍は青島の戰役に比べると人員が多いから頭割にすると是丈あつても極僅少の物品しか渡らない誠に此上も無き遺憾事である然るに茲に美談と云ふべきは東京

☆日本橋區瀬戸物町に…高橋善郎氏で同氏はお忙な折にも拘らず暇を利用して諸方面に渉つて恤兵金の寄附を勸誘した結果九月末日迄に合計金約二千五百圓を蒐集して提供した實に感ずべきことである同氏は曾て横須賀なる重砲兵隊に入營中胃腸病の爲め

☆除隊の身となり其後青島戰の勃發と共に召集されたが父も病魔の爲めに召集解除の身となつたので痛恨の念に堪へず折もあらば此少の金品なりとも獻じて奉公の一端ともなさんものと思つて居る中圖らずも西伯利出兵の事あり幾多將士の勞苦に思到すれば萬腔の

☆同情を禁ずる能はざるに恤兵金品の蒐集を思ひ立ち此の擧に出でたものであるといふ事を聞き遺憾措くなからず我奉公の誠に擬すべき事にて其他同志者を勸誘して首尾好く其目的を達した次第だと云ふ氏は今後と雖も猶機會を求め大いに勸誘に盡瘁せんと赤心を面に表して語つてゐるが尚

☆朝鮮にも是に類した熱心家が尠くなく既に九月末迄に左の通り寄贈があつた

金一圓五十錢 朝鮮忠山府山職 李之助
金五百圓 同大 部榮林里 敬植
金十百四圓 同京城府 寺利寺七寺 同
金九河 大本山聯合事務所委員長
金三十圓 朝鮮忠州群郡山面長 金周鎬
金一千圓 同咸安郡諸原面 崔允俊
金一百圓 同平一郡淡川面 崔允俊
金十圓 同 金鳳天
金二十圓 同 金延範
金十圓 同 崔決源
金五十圓 同 朴鵬
金五圓 同 朴龍基
金十圓 同 那永燦
金十圓 同 朴尚彦
金二十圓 同 李景
金十圓 同 金達鎬
同 陸面人在接會長 開城郡中面 鮮高興郡島敦
慰問袋 六百三十個 同 郡守高義駿
七百個 代表者 中山政子 大邱府愛國婦人會

☆軍國多事の折柄一般國民擧つて倍々國家の爲めに其赤誠を盡されん事を最後に臨み切に希望する次第である（東京支局）

◎高野山中學俗衆鮮 高野山中學校學生約卅名は大師大田等を引率し九月午後七時五十五分列車にて入京し南山原本願寺に泊し翌十日は總督府を訪問し各宗寺院に本社を訪ひ正午十二時に市内高野山に寄り昼食の後午後正一時朝鮮歡振鵬前時を修し午後二時より御苑其他名所を見學し午後五時十二分仁川に向ふべく十一日は再び龍山に戻り元山を經由して海上歸賀に至り郎日出發する答

◎光化門局雇員採用 光化門郵便局に於て雇員數名試驗の上採用す試驗は高等小學卒業程度に於て行せらるゝ由志望の向は來る十五日迄に履歷書を添へ申出づべしと

讀者文藝（一等には五十錢二等には…の郵便切手券を呈す）

▲下句つけ 『陽に映ゆる』

龍山元町二こまや呉服店方 岡本島石

◎陽に映ゆる旗がまぶしい獨逸兵 安州 蔵六 庵

▲紅葉や京の錦なり 仁川 四チャン

▲市旗揚として誇りあり 仁川 花翁

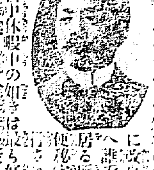
▲…の戰跡に映ゆる

資本僅かに…五拾圓で呉服屋
副業として、確實、有利御婦人でも老人でも獨立する靑年諸君にも
全國一町一村に一名限り特約店規定至急郵券三錢送れ
東京九段 中込多數至急要
久保濱織物チエンストアー 地方卸部

冷え
下腹や内股が引つる様に痛み年中腰足が氷の様に冷え、局部からは水又は白或は黄ばんだ惡臭のあるこしけが下りて、顏色惡く、小便近く、逆上、頭痛、胸先へ差込み、息切れ、動悸強く、手足しびれ、耳鳴り、肩凝り、夜不眠、物事を氣にかけ、月經はあつたりなかつたり又は月經前後に下腹痛み等にて苦しみ是迄有ゆる藥は飲みて迷ふ方は一刻も早く東京市京橋區新富町三丁目東京堂藥房へハガキで申込みなさい自宅で安全に手當の出來る方法を御知らせします

實用防寒毛布
（家庭にも旅行にも無くてならぬ）…東京織物仲繼店

脊の高くなる器械
男女 器械無料貸與 實驗一ケ月
專賣特許第二九八九號…



募集
東京日蒔車町…讀者募集…

廢品被服拂下
十月二十二日入札詳細十月七八九日朝鮮官報及當部門前揭示ニアリ

職業
頗る美術的にして有利なる…形梅商店

りん病
日本一唯
眞空機械療法 無代進呈
…大阪市北區…研究所

京日案內

店員入用
年齡廿五歲以下の者
江頭衣服店

貸家
高麗人蔘製劑所

電話讓受たし
電話二一九四番 平井へ

帳場名入用
年齡三十歲以上の者…

毛皮なめし仕立

高等御下宿 優等旅館

店員入用
川本衣服店

最新刊

平假名かるた

ぴんぽん道具
大阪屋號書店

天
洋鐵 銅 鐵 板…
…金物也

李王職御用
横濱牛乳
ニウソ 石鹸 洗粉
東亞牧場 京城蓬萊町四丁目

有田ドラッグ商會
百圓進呈
三休橋…

りん病 ばい毒
帝國醫科大學院…

にせ物に注意
大阪有田…

朝鮮の仁丹…

妻の心 百十四

十八の五 小林蹴月作 武内桂舟畫

『だつてお前は、疾の昔町川家から暇の出た女ぢやないか。乃公の影身に附き添つて歩くと云ふ筈はなさゝうなもんだね。』

久三郎は、不審を打ちながらお俊の顔を眺めるのであつたが、彼女の眉間にはまだ、自分が先つ頃猪口を投げ付けた瑕痕があり〳〵三日月形に印つて居るのを氣付いて、追に憐愍の情が動いた。

『そりや町川家からはお暇が出ましたに相違御座いませんけれども、奥様からは一生涯お暇を頂かない了簡で居りますんで御座います。』

『ふゝむ、して見ると、お前はまだ禮子の爲めには熱心なる味方の一人だと云ふんだね。』

『はい、奥様が萬々一お死になるやうな事があれば、妾も御一緒に死にます覺悟で…………』

禮子がまだ振分髪の昔から、町川家で奉公住みして居た古參のお俊は、實際世辭にもなく禮子の爲めならば、甚麼艱難にも堪へ、恥辱をも忍んで、只唯禮子の爲め好かれがしと祈つて居るのであつた。

『は、はア、然うかね。そりやお前の精神としては感ずるに餘りあるだが、乃公と云ふ人間は、もう町川家にも禮子にも何等の關係がないんだから、随つてお前とも又無關係の他人と云ふ譯なんだよ。そのお前が、突然這麼所へ姿を現はすと云ふのは、不思議の極だね』

『いゝえ、決して不思議な事は御座いませんです。妾は奥様の只今のお有様が、怎麼にも怎麼にも……怎麼にも御可哀さうでなりませんから、別段お頼まれした次第では御座いませんけれども、一昨晩此家へ、旦那様のお行先お行先と、雨に濡れ風に吹かれしてお慕ひ申して居りましたんで御座います。唯斯様に申した丈では旦那様は好い加減な事を云ふ奴と思召すで御座いませうが、その證據には一昨夜の眞夜中過、彼のお寵愛のお芳さまが男の子をお産みになりました事も、昨日の朝夙く、櫻井さまとご一所にお芳さまの許をお出ましになつて、何こやら云ふ辯護士のお宅へお立ち寄りになりました事も、それから又、下谷の稲荷町へ駒子さんをお尋ねになつた事も、山下で若い藝妓衆にお逢ひになつて、伊豫紋とか云ふ料理屋から、その藝妓衆をお連れになつて、昨晩この待合へお入り込みになつた事まで精しく存じて居りますので…………』と、お俊は、又しても涙に鼻を詰まらせかけたが、思ひ切つて、元氣を取戻すやうな咳拂ひしながら

『で御座いますが、旦那様、それは皆妾の勝手で勝手な苦勞を致しました事故、旦那様に對して兎や角と愚痴をお聞かせ申すのでは御座いません。只だおろかな俊やのお願ひと致して、いま一度、奥様にお顔をお見せ遊ばして頂く事は叶ひませんで御座いませうか。それより外に何にもお願ひ申す事はないので御座いますから…………。』

『成程、お前の話を聞いて見ると、お前は暴風雨の晩以來二日二晩と云ふもの、殆んど寝ずに喰はずで、乃公の後を附纏つて歩いた事は事實らしいが、察する處、お前はまだ末のみを知つて本を知らずに居るんだ。』

『本を知らぬとは、』そりや旦那様、何う云ふ事なんで御座いませう。』

『折角お前が、それ程の大骨を折つて、乃公と禮子とを合はせやうと苦心して居る志は感謝するが、ね、お前、肝腎の禮子は既に從兄妹同士の櫻井と不義を働き、乃公の方へは、此の通り絶緣の書面まで寄越しこる位ぢやないか。その禮子に乃公が今更會つて見た所で、結局は双物三昧にでも訴へるより外、處置の著けやうが無いと云ふもんだからね。は、は、お前にはお氣の毒だが、うむ宜しいとは云ひかねるよ。』

久三郎は例に依つて皮肉と面當とを一緒に束ねて、情なくもお俊の哀願を弾ね返して了つた。

『そ、そ、それが旦那様のおはき違ひで御座います』と、お俊は、膝と膝とを同時に突き進めて、

『旦那様は、御本宅へお寄り付きになりませんから、何事も唯御推量丈で御判斷遊ばすんで御座いませうが…………それが旦那様、貴郎様の…………』と、云ひさして、俊は少時聲を途切らす。

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

神經衰弱の話（一） ―兆候―

多少異なる各個人の體質の中で病的に近い體質には、其分類が色々あるが、初めて神經病性體質こいふものを稱へ出したのは、一九〇〇年佛國醫コンビーである。又チエルニー氏は此頃になつて特に小兒の體質にも、此神經病性

▼異常體質 のある事を唱へ出してから、東西の學者間に注意さるゝ事になつた。世間で神經衰弱と云ふものゝ大部分は、是れ等異常な體質者が、追々成長するに從つて周圍の交渉が複雜となり學校生活も困難になる、勢ひ神經系統の負擔を、過重ならしめる結果、一種の疲勞狀態に陥るのである、それに神經中樞機が、平衡狀態を失つて過敏となり、些かの事にも興奮して

▼持久性を 喪ふ事になるのは、青年、殊に學生等に多い、この體質性神經衰弱症と稱するものの中には、單に過度の勉強とか、其他の心身過勞が原因となつて、一時的に發生する者、其他種々なものが、一様に神經衰弱として取扱はれて居るので、夫れを見分ける事が、治療上最も重要である、一體頑壯な體質を有つて居る者は

◆容易な 事では神經衰弱には罹らぬ、丁度胃腸の健全な人は少し位の粗食や、不攝生の爲めに胃腸を害されないが、胃腸の弱い人は、生來に胃腸の抵抗力が弱いために起るのであるのと同様で、神經機能の生來

◆薄弱な者 は、些細の原因で神經衰弱に罹り易い、だから私は凡ての神經衰弱病といふものは體質病であるこいひ得らるゝこ考へる（つゞく）

○主婦たる人は 廢物利用 に心掛けよ

近頃は廢物利用こいふ言葉が特別用ひられる如に成ましたが私の家庭では平常實行して居る事のみで特別に廢物利用こいふ言葉が耳新しくひゞかないのでございます、凡そ日常の家事に携はつて居りますと何でも捨るものこては御座いません、私は

▼多勢の子持ち ですから更らに是れ等の事については細心な注意をします 私は常に澤山の袋を拵へておいて其の中へ細かい物は品別をして入れておきます、ごんな襤褸でも決して捨てないのです父親のホワイトシヤツが子供等の前掛になる、編んだネクタイや靴下は、綿にほぐして他の靴下を綴つたり又綿入たのを故郷へ送つてやつて織物に致します、先の方の穴が澤山あいて到底物にならないのでも捨ずにおいて例の品別の袋の中へ收め醤油や油のこぼれたのを拭くのに用ひます又戸の閾の所へ油を敷く時などには早速それを取り出して敷く事に致して居ります、臺所方面では、大根の葉や東京の人は食る人が少いでせう、あつた所で干葉が精々味噌汁位の使用法が主でせうが、却々調理法に依つて捨る事が勿體なくなります人蔘の葉も多くは

▼塵芥箱の中へ 行く運命ですが、あれも取つて置いて何かの序に茹で、青味に一寸添へますと飛んだ引立役を致します、凡てがかう云ふ調子にして居りますから捨る物が僞い譯です、多くの子供や老人の世話をして居る身は、ごても自分の爲めに時間を割いて居られません事を悲しいと思ひます、無理をして世間へ出て居たが爲に、家の中から不良少年を出すやうでは終生の恨事です、此[illegible]賢母たる事は極めて必要な事ですが然し主婦でありましても家庭の雜事に追はれない方でしたら率先して外の事に又婦人の會合抔の爲に盡される事は誠に望ましい事だこ存じますから時節柄贅澤な手藝品よりは廢物で唯だ實用向のお話をしませう、近頃私の學校では生徒は襤褸を集めた手製の草履を穿いて居りますが之からは却て暖かで結構の樣です

▼反物の織り端 なごを捨ずに集めて置いて、それをつぎ合せて草履の表に致します裏へはボール紙か反物の紙をあてますが其の間に、フランネルだのメリンスなごの厚ぼつたい襤褸を澤山挾み部厚に拵へます、ミシンでしますこ結構で手縫ひでも悪くはありません

▼鼻緒もあり布 の細長いので中へは拔き綿なごを入れて拵へ、緒をすげてから裏へも一枚厚い襤褸をつけても宜しう御座いますが、なほ丈夫なものこするには、三尺紐や腰紐等の紙屑籠へ入れる様なものを細長く裂いて、三つ編に編んで紐を拵へ之れを恰度藺裏の通りにつけるか、又渦卷きの様にして裏へつけます、側面へはやはり細長い布をぐるりこ行けつけますこ、結構なへりのお草履が出來上がるわけです

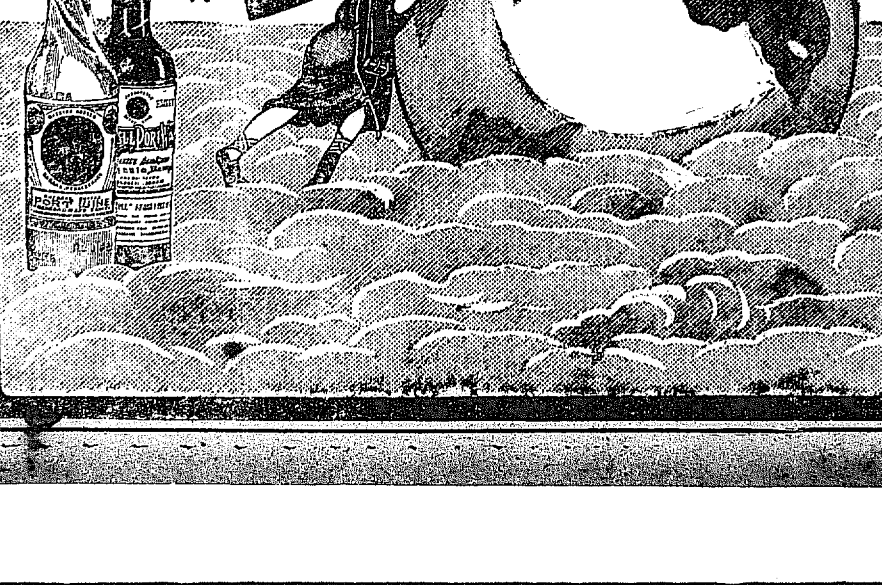
龍山元町（電話一〇四番） 幾野醫院

讀者の領分

▲運動會の季節に入ましたが運動會の多くは校庭を選ぶよりは成る多く四圍の風致に富む避暑地の如き場所を選ばれん事を希望する 運動會の爲めの運動會で無い以上殺風景な校庭より遙かに場所そのものに愉快味の多い所を選定する事は兒童の心身に及ぼす影響が深いと思ふ 此間も某校の運動會で生徒が砂利の上で手を擦りむいたり足を怪我したりした者が大分あつた大事の兒童を預る責任ある學校としては尚更此點など考慮せられん事を切に希望す（父兄の一人）▲小生昨年來脚氣にて難物小豆麥飯其他種々療養を盡すも甲斐なし若し經驗上効果ある療法御存じの方あらば御教示を乞ふ（本町三丁目生）▲新市街中に於て警察の許可なくして飲食店の如き營業を始めて居るものが增えて居るが中には三四箇月も營業を繼續し表には化粧屋の看板など揭げて居るものがある取締を望む（商業者社悲掛）

○兩大保險の合同 神國、有隣の兩大生命保險會社は曩に飯田延太郎氏の經營に歸してより、頗る良好なる成績を擧げ來りたるが、今回右兩社は合同を實行し、從來神國生命保險會社の契約は全部、及び有隣生命保險會社に包括移轉することとなり、既に主務省の認可を得て實行することとなりたれば、兩社は茲に合一して一層内容の健全充實を期し斯界に新たなる飛躍を試むべく、同社從來の經驗と信用とに徴するに、其前途頗る活目すべきものある可し

十月十日より十二日まで三日間
三越の大賣出
冬衣新柄よせぎれ見切反物澤山取揃申候
京城本町 三越呉服店

時は過ぎ行く 刻々に澱みなく!!
活動! 活動!!
强壯者も虚弱者も一齊に飲んで元氣と活動力の源泉となる
七大醫學博士の賞讃と證明ある美味＝滋養の葡萄酒
赤玉ポートワイン
によつて元氣を興賦せられよ!!
朝夕の一杯は百藥に優る赤玉!!


金牌受領
專賣特許
世界のはてまで
亀の子束子は
需要の途が啓け益々好評を博しつゝあります
食器洗滌用、炊事器洗滌用、浴室洗面所用、什器洗拭用
絹綿布洗濯用、不潔物洗滌用、農工業用船舶用として
いよいよ包裝した新製品を發賣しました
本舗 東京本郷 西尾商店

○洋酒家の恐慌 米國政府が大戰を持久する爲め……

▼市場に 現はれなくなつた

▼消費量 の九分強は輸入品

懸賞文の募集規定

仁川期米

仁川米豆取引 七日の十二月限